



三菱 **業務用** ロスナイ

天井埋込形加湿付マイコンタイプ (フリープラン対応形)

形名	単相 100V	単相 200V
	LGH-N15RKX2	LGH-N15RKX2D
	LGH-N25RKX2	LGH-N25RKX2D
	LGH-N35RKX2	LGH-N35RKX2D
	LGH-N50RKX2	LGH-N50RKX2D
	LGH-N65RKX2	LGH-N65RKX2D
	LGH-N80RKX2	LGH-N80RKX2D
	LGH-N100RKX2-50 (50Hz 専用)	LGH-N100RKX2D-50 (50Hz 専用)
	LGH-N100RKX2-60 (60Hz 専用)	LGH-N100RKX2D-60 (60Hz 専用)

据付工事説明書

販売店・工事店様用

据付工事を始める前に、この据付工事説明書をよくお読みください。

据付工事は、必ず専門の工事店で実施してください。

電気工事は電気工事士の方が実施してください。

(お客様自身で据付けないでください。無資格者の電気工事は法律で禁止されています)

給水配管工事は、所轄水道局(水道事業者)指定の給水装置工事事業者の方が実施してください。

別冊の「取扱説明書」はお客様用です。据付工事が終わりましたらこの説明書とともに、お客様に必ずお渡しして、使用方法を説明してください。

■この製品にはリモコンスイッチ他、別売のシステム部材が必要です。カタログ等により別途ご用意ください。



■ジーニアスリモコン (PGL-61DR) 以外のリモコンを使用した場合、ご使用できない機能があります。

もくじ


	ページ
安全のために必ず守ること……………	2～3
外形寸法図……………	4
標準据付例……………	5
据付方法……………	6～22
機能設定……………	23～31
据付工事後の確認……………	32
試運転……………	33～35

安全のために必ず守ること







■ 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
 注意	誤った取扱いをしたときに軽傷または建物・機械などの物的損害に結びつくもの



■ “図記号”の意味は次のとおりです。

 禁止	 アース線接続
 分解禁止	 指示に従い必ず行う
 風呂・シャワー室での使用禁止	

警告

 禁止	低温(0℃以下)となる場所には据付けない (電磁弁、配管等が破裂し、水漏れの原因になります)	 指示に従い必ず行う	本体の据付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う (落下によりけがをすることがあります)
 分解禁止	改造や必要以上の分解をしない (火災・感電・けがの原因となります)		端子台接続部は、指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する (接続に不備があると火災のおそれがあります)
 風呂・シャワー室での使用禁止	浴室など湿気の多い場所には、本体・コントロールスイッチとも取付けない (感電や故障の原因になります)		電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付工事説明書に従って取付けし、必ず専用回路とし、かつ定格の電圧・ブレーカーを使用する (電源回路容量不足や取付不備があると感電、火災の原因になります)
 アース線接続	アースを確実に取付ける (アースを取付けないと故障や漏電のときに感電の原因になります)		漏電保護用に電源側へ漏電ブレーカーを使用する (漏電した場合、火災の原因になります)
 指示に従い必ず行う	定格電圧、制御容量範囲で使用する (間違った電圧で使用すると火災や感電の原因になります)		製品金属部(金属製ダクト)がメタルラス張り、ワイヤラス張り、ステンレス板などの金属と電氣的に接続しないように取付ける (接続されていると漏電した場合、火災の原因になります)
	コントロールボックスカバーは施工後、必ず取付ける (ほこり・湿気などにより漏電・火災の原因になります)		電気工事の際は、必ず分電盤のブレーカーを切る (通電状態では感電やけがをすることがあります)
	外気の取り入れは、燃焼ガス等の排気を吸い込まない、積雪で埋もれたりしない位置を選ぶ (新鮮な空気が入らず、酸欠状態になるおそれがあります)	凍結のおそれのある地域では、必ず凍結防止工事を行う (電磁弁・配管などが破損し、水漏れの原因になります)	

⚠️ 注意

 <p>禁止</p>	<p>高温（40℃以上）や直接炎があたったり、油煙の多い場所には据付けない （火災のおそれがあります）</p>	 <p>指示に従い 必ず行う</p>	<p>本体より室外側のダクトは室外に向かって下りこう配（1/30以上）になるように取付け、断熱処理を確実に 行う （雨水の浸入による漏電・火災や家財の損傷のおそれがあります）</p>
	<p>機械および化学工場など酸・アルカリ・有機溶剤・塗料など有害ガス・腐食性成分を含んだガスが発生する場所には据付けない （絶縁劣化による漏電火災や故障の原因になります）</p>		<p>据付け後長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る （絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります）</p>
	<p>塩害・温泉害などの発生している場所には据付けない （絶縁劣化による漏電火災や故障の原因になります）</p>		<p>吊りボルト・ナット・ワッシャーは必ず指定のものを使用する （指定以外のものを使用すると落下の原因になります）</p>
	<p>ドレン配管の途中に市販のドレンポンプ（ドレンアップメカ）を接続して排水を処理しない （製品の異常停止や、ドレンポンプの故障により水漏れし、天井・床・その他、大切なものを濡らす原因になります）</p>		<p>据付けの際は手袋を着用する （着用しないとけがの原因になります）</p>
	<p>ドレン配管の先端を雨どい等に入れ ない （大雪時、雨どいが凍結して排水されず、本体から水漏れする原因になります）</p>		<p>ドレン配管工事は据付工事説明書に従って確実に排水するよう施工し、結露が生じないよう断熱処理をする （配管工事に不備があると、水漏れし、天井・床その他家財などを濡らす原因になります）</p>
	<p>軟水器を使用しない （残留物が析出し、飛散する原因になります）</p>		<p>製品の運搬には十分注意して行う （20kg以上の製品は原則として二人以上で行ってください。PPバンドなどで所定の位置以外を持って製品を動かさないでください。素手で板金部品などに触れるとけがをする場合がありますので保護具をご使用ください）</p>
<p>過加湿にしない （結露により、建物を傷める原因になります）</p>			

お願い

- 低外気温度時は冷風侵入により加湿部が凍結破損、結氷による水漏れの可能性があります。加湿運転時は室内暖房運転と併用してご使用ください。また、製品停止時は加湿部が0度以下にならないように電動ダンパーおよび凍結防止ヒーターを併用してください。
- 外風の強い場所や室内外の圧力差がある場合、寒冷地や霧の発生しやすい場所では運転停止時に、冷気・外風・霧・高温高湿空気が浸入することがありますので、電動ダンパーを必ず併用してください。また、寒冷地や霧の発生しやすい場所以外でも室内外の圧力差や外風により外気が製品内に侵入するおそれがありますので、電動ダンパーの併用をおすすめします。
- 高温多湿条件（30℃以上のとき、相対湿度 80% 以上のとき）や霧の多発地域で長時間使用となる場合、エレメント内部に結露が生じてドレンが発生することがあります。このような条件下では使用できません。
- 天井材は共鳴しにくい材質をご使用ください。
- 寒冷地などでは使用条件範囲内で使用する場合でも、外気条件と天井裏温湿度条件によっては本体表面およびダクト接続部が結露・結氷するおそれがあります。このような使用条件下で使用される場合は、断熱材の重ね貼りの追加工事を実施してください。
- 濡れて困るものの上に製品を設置しないでください。外気や設置場所の温湿度条件により製品から露が落ちる場合があります。
- 雨水浸入防止対策を施してください。（標準据付例の雨水浸入防止をご参照ください）
- 給気・排気が混ざらない配管工事を行ってください。
- 給気側屋外フード近くに窓面などがあり、照明光に虫が集まりやすい環境下でのご使用の場合には、虫の侵入対策として別売のフィルター付給気グリルを取付けることをおすすめします。（取付けないと室内給気へ虫が侵入するおそれがあります）
- 室外側の OA（外気）、EA（排気）ダクトに過大な圧力損失がかかると RA（還気）側から SA（給気）側、もしくは EA（排気）側から OA（外気）側への空気漏れが増加する傾向があります。OA 側、EA 側に過大な圧力損失がかからないように施工してください。
- 給水・排水工事は各市町村の条例に従ってください。
- 喫煙室での換気用途としてはご使用できません。
- 本製品は、定期的なメンテナンスを怠ると性能低下の原因となります。メンテナンスのために必ず本紙に記載しているメンテナンススペース、点検口を設置してください。
- 外壁面の給排気口の位置はダクト径の3倍以上離してください。
- 次のようなダクト工事はしないでください。風量低下や異常音発生の原因になります。

● 極端な曲げ



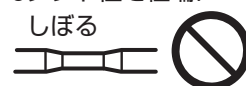
● 多数の曲げ



● ダクト接続フランジのすぐそばでの曲げ

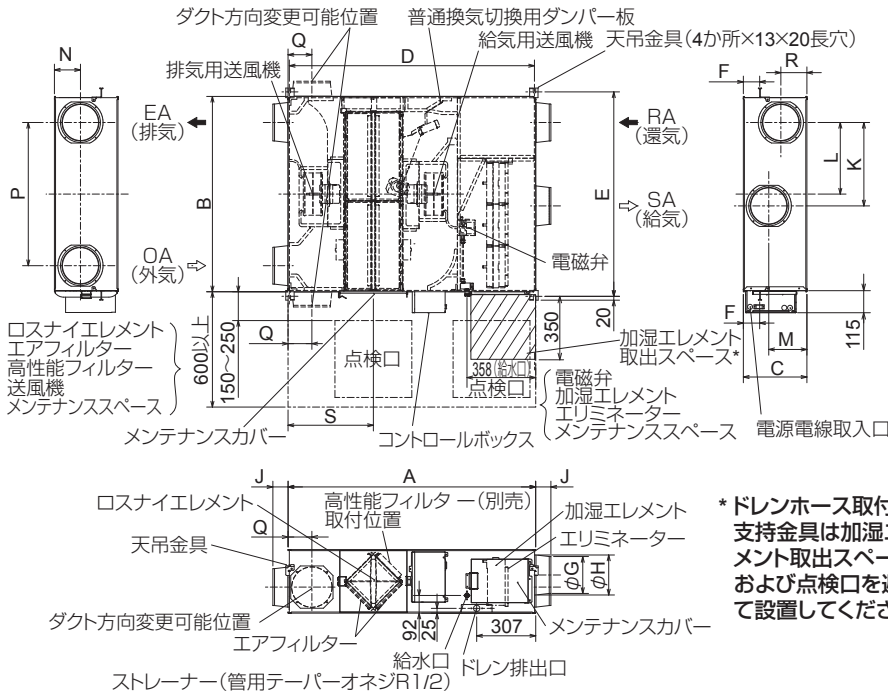


● ダクト径を極端にしぼる



外形寸法図

LGH-N15~N50RKX2(D)



※LGH-N15, N25, N35の製品は点検口1か所の寸法を表示しています。

単位 (mm)

形名	外形			天吊金具ピッチ			ダクト接続フランジ		ダクト取付ピッチ								点検口	質量 (kg)	
	A	B	C	D	E	F	呼び径	G	H	J	K	L	M	N	P	Q			R
LGH-N15 タイプ	1182	611	298	1169	658	75	100	97.5	110	53	400	225	149	95	450	119	95	656	33
LGH-N25 タイプ	1212	735	298	1199	782	75	150	142	160	63	505	265	149	115	530	102	115	656	36
LGH-N30 タイプ	1288	874	331	1275	922	85	150	142	160	64	400	325	165	110	650	124	110	732	44
LGH-N50 タイプ	1288	1016	331	1275	1064	85	200	192	208	79	434	373	199	135	745	124	135	444	50

付属部品

- ①取付ネジ
十字穴付トラスタッピンネジ
4×8 (フランジ接続用)
..... 16本
十字穴付トラス小ネジ
M5×10 (天吊金具固定用)
(LGH-N15~N50タイプ)
..... 4本



- ②ダクト接続フランジ
... 4個
(SA, EA側に重ねて
入っています)



- ③ネジキャップ... 14個



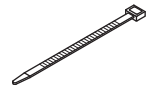
- ④ドレンホース ... 1個



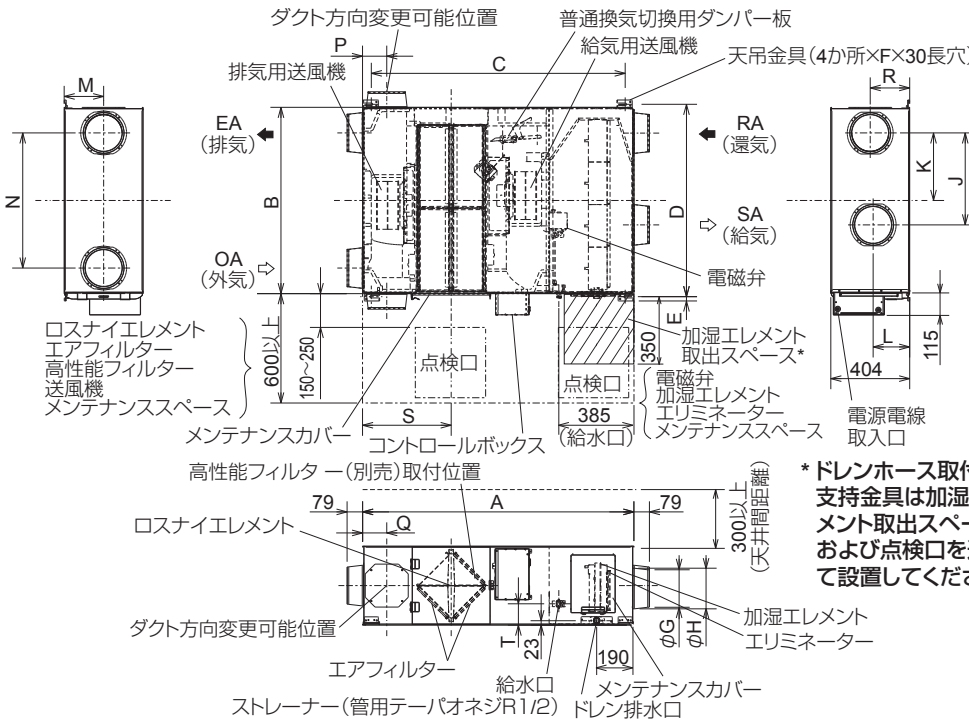
- ⑤断熱材
ドレン配管用 ... 1個
天吊金具用 ... 1個



- ⑥結束バンド
(大) 1本
(小) 2本



LGH-N65~N100RKX2(D)

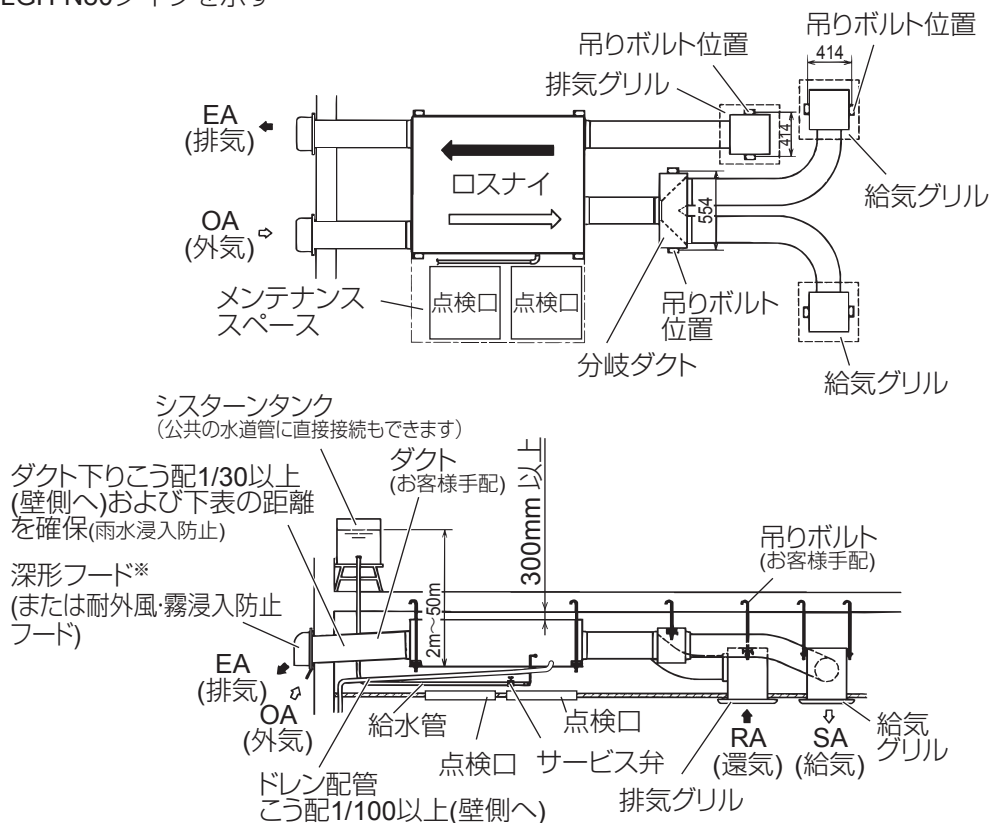


単位 (mm)

形名	外形		天吊金具ピッチ				ダクト接続フランジ		ダクト取付ピッチ								点検口	給水口	質量 (kg)	
	A	B	C	D	E	F	呼び径	G	H	J	K	L	M	N	P	Q				R
LGH-N65 タイプ	1390	954	1300	985	22	13	200	192	208	470	345	187	202	692	124	124	202	454	159	68
LGH-N80 タイプ	1572	1004	1465	1043	16	15	250	242	258	400	345	217	162	690	165	165	202	572	173	78
LGH-N100 タイプ	1572	1231	1465	1270	16	15	250	242	258	560	459	237	162	917	165	165	162	572	173	90

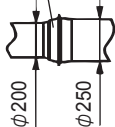
標準据付例

※図はLGH-N80タイプを示す



※ベントキャップ、丸形フードは雨水が直接かかるところでは、使用できません。(雨水が浸入します)

ダクト変換アタッチメント (ダクト径を変更する場合)

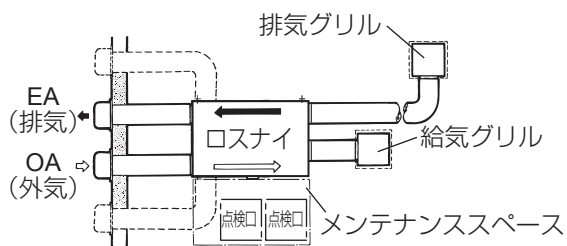


単位(mm)

■OA・EA側ダクト距離
深形フードご使用の場合

形名	距離
LGH-N15~N65タイプ	1m以上
LGH-N80・N100タイプ	2.5m以上

■破線のように室外側ダクトの方向が変換できます。



■冬期に凍結のおそれのある地域では、ロスナイ停止時における外気（冷気）侵入防止として、電動ダンパーを必ず併用してください。

電動ダンパー (冬期のロスナイ停止時冷気侵入防止)

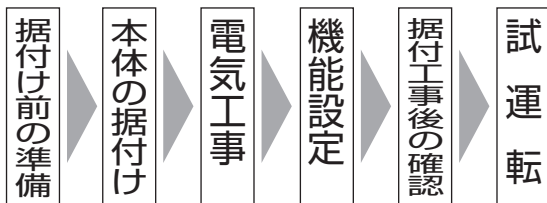


■ブースターファンを併用する場合、SA（給気）側ダクト内を負圧にしないようにしてください。負圧になると加湿運転時に十分に排水がされず、水漏れ、加湿異常の原因になります。

■ロスナイエレメント、加湿エレメント、エアフィルター、エリミネーター取出側にはメンテナンスのため、点検口（□450または□600）とメンテナンススペースを必ず設けてください。

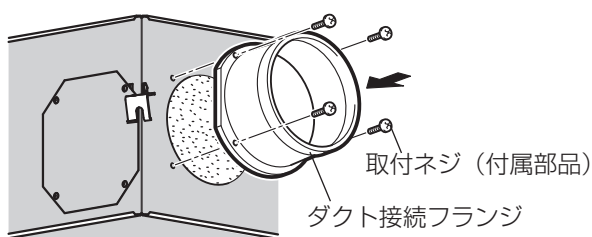
据付方法

■据付工事の流れ



この製品は、室外側ダクト（EA・OA）の方向を変更することができます。
詳しくは「室外側ダクト（EA・OA）の方向を変更する場合」を参照してください。

据付け前の準備



ダクト接続フランジの取付け

ダクト接続フランジを付属の取付ネジで本体に取付ける。

お願い

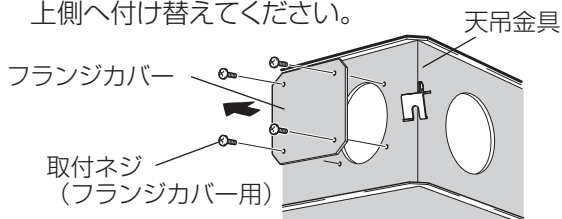
- ダクト接続フランジを取付ける前に本体内に異物（紙・ビニールなど）が入っていないことを確認してください。
- SA・RA側にパッキン付きのダクト接続フランジを取付けてください。

■室外側ダクト（EA・OA）の方向を変更する場合 ※図はLGH-N50タイプを示す。

1

1 フランジカバーの取りはずし

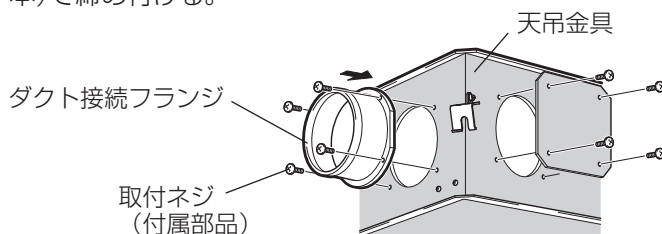
フランジカバーの取付ネジ(4本)をはずし、フランジカバーを取りはずす。
※LGH-N65~N100タイプは天吊金具を下側から上側へ付け替えてください。



2

2 ダクト接続フランジの取付け

- 1.ダクト接続フランジを、付属の取付ネジで本体に取付ける。
- 2.取りはずしたフランジカバーを、取りはずした取付ネジ(4本)で締め付ける。



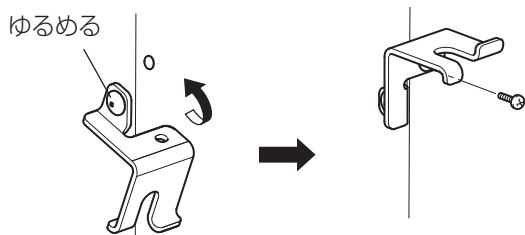
天吊金具の固定(LGH-N15~N50タイプのみ)

- 1.天吊金具のネジをゆるめる。
 - 2.ゆるめたネジを中心に天吊金具を90°回転させ、水平にする。
 - 3.ゆるめたネジおよび付属の取付ネジ（十字穴付トラス小ネジ M5）で製品にしっかり締め付け、固定する。
- ※天吊金具は工場出荷時、本体にたたんだ状態で固定されています。

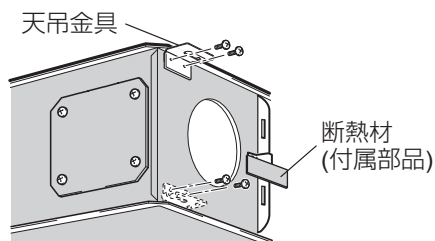
LGH-N65~N100タイプの場合

吊りボルトが短い場合や、室内側ダクトの方向を変換する場合は、天吊金具を上側へ付け替えてください。

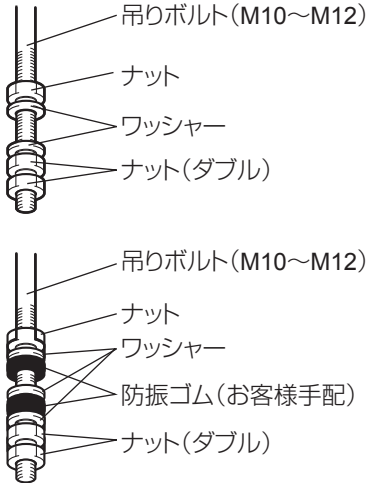
- 1.ネジ2本をはずし天吊金具をはずす。
- 2.本体上側に締め付けてあるネジ2本をはずす。
- 3.天吊金具を上側へ取付ける。
- 4.天吊金具をはずしたネジ穴にネジを締め付け、空気漏れを防止する。
- 5.OA側（メンテンスカバー側）の天吊金具をはずした位置にネジの上から付属の断熱材を貼り付ける。



2



3



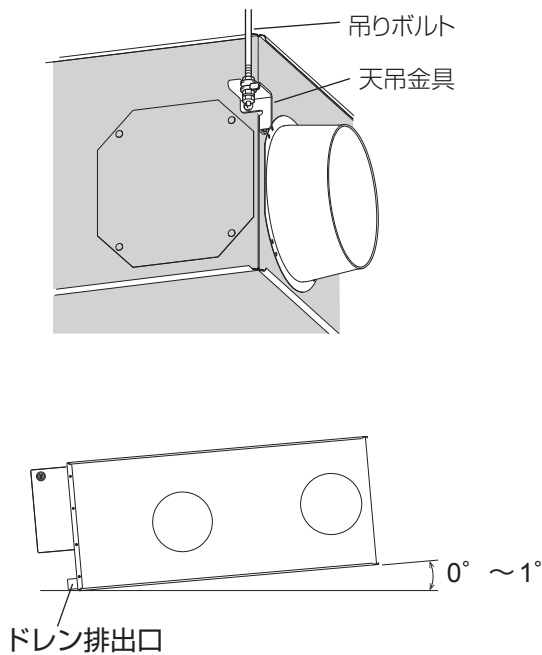
ワッシャー・ナットの取付け

あらかじめ埋め込んである市販の吊りボルト（M10～M12）に左図のように市販のワッシャー（外径M10で21mm以上、M12で24mm以上）・ナットを取付ける。ゆるみ防止のためダブルナットで確実に取付ける。

【防振ゴム（お客様手配）を使用する場合】

防振ゴム（お客様手配）を使用する場合は、強度低下の原因になる可能性がありますので、左記のような施工を推奨します。

本体の据付け



本体の固定

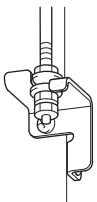
LGH-N15～N65タイプの場合は天吊金具を吊りボルトに引っ掛ける。LGH-N80・N100タイプの場合は吊りボルトを天吊金具の長穴に通す。（本体が長手方向は水平、短手方向は水平もしくはドレン排出口が下になるよう（1°以内）に調節し、ゆるみ防止のためダブルナットで確実に締め付ける）

- 上記取付けが守られないと、排水が排出されず、残水の不純物（白粉等）の発生の原因となります。
- 天井内に本体を吊り上げたときに、本体の下に人が通れるスペースがある場合は必要に応じて本体下面のネジ先端に付属のネジキャップを取付けてください。

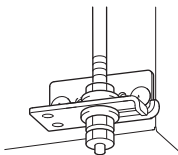
お願い

- 本体を吊り上げるとき、本体、コントロールボックスに無理な力を加えないでください。（本体に歪みが生じ、メンテナンスカバー等の密閉性が損なわれる原因となります）
- 防振吊金具（別売部品）を吊りボルトへ据付ける場合、加湿メンテナンスカバーの可動範囲と干渉しない位置に据付けてください。
- LGH-N65～N100タイプの据付けの際、吊りボルトが短い場合は、天吊金具を上側へ付け替えてください。（OA側の天吊金具をはずした位置にネジの上から付属の断熱材を貼り付けてください）（6ページ参照）
- 吊りボルトは振れ止め用耐震支持部材にて必ず補強を行ってください。

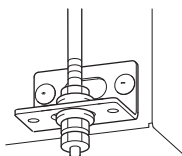
LGH-N15～N50
タイプ



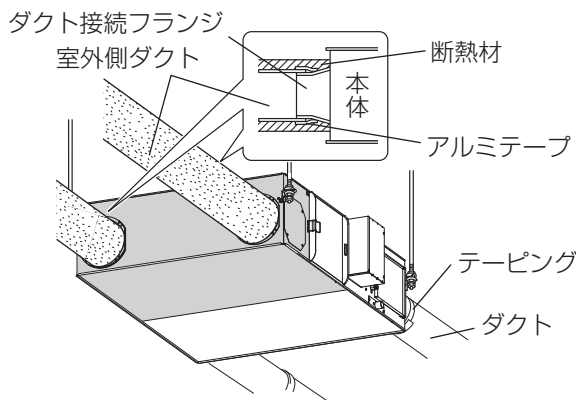
LGH-N65
タイプ



LGH-N80・N100
タイプ



据付方法 つづき



ダクト接続

1. ダクトをダクト接続フランジにしっかり差し込み、風漏れのないよう市販のアルミテープを巻き付ける。
2. ダクトはロスナイ本体に力が加わらないよう天井から吊るす。
3. 室外側ダクト2本（外気・排気ダクト）には、結露防止のため必ず断熱材を巻き付ける。

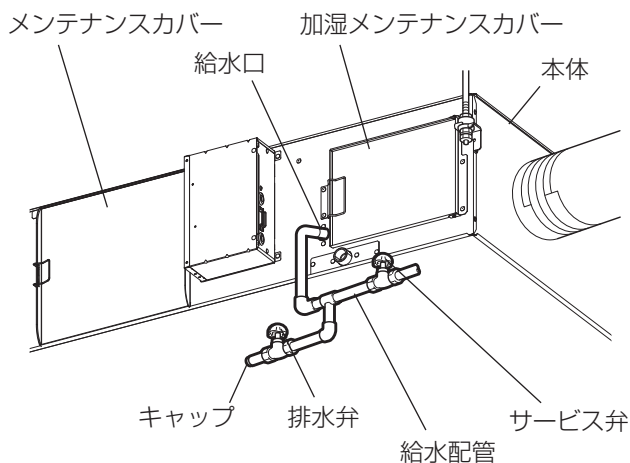
お願い

- ダクト接続をする前にダクトの中に切り粉、異物（紙・ビニールなど）が入っていないことを確認してください。
- ダクト接続工事の際に本体内のダンパー板には触れないでください。
- 夏期冷房時、ロスナイ本体が設置される雰囲気温度が高温になると予想される場合は、室内側ダクト配管にも断熱処理してください。

給水配管工事

給水配管工事の際に給水配管と給水口（管用テーパオネジ R1/2）との間に、屈曲・振動などを吸収するため市販の可とう性のあるフレキシブルパイプ等を使用して接続する。

- 給水口と接続の際はネジの種類に注意し、ネジの種類をあわせて工事を行う。
- 給水は、市水または上水を使用し防露工事を行う。（凍結のおそれのある場合は凍結防止工事を行う）
- 給水圧力は水道管に接続する場合、シスターンタンクを使用する場合、いずれの場合も 0.05MPa ~ 0.49MPa になるように設定する。
- シスターンタンク等を使用する場合、給水量は 350cc/分 確保してください。
- 給水口近くにサービス弁・排水弁を設置して給水配管を行う。
- 給水配管工事の際、切り粉などが入らないよう真水できれいに洗い流してから配管するか、配管途中に排水弁を設け、水の白濁がなくなるまで十分予備排水を行う。（排水が不十分な場合は電磁弁の故障や加湿エLEMENTの機能低下の原因になります）
- 給水はシスターンタンク使用以外に水道管を直接接続することもできます。（地区により規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄官庁にご相談ください）

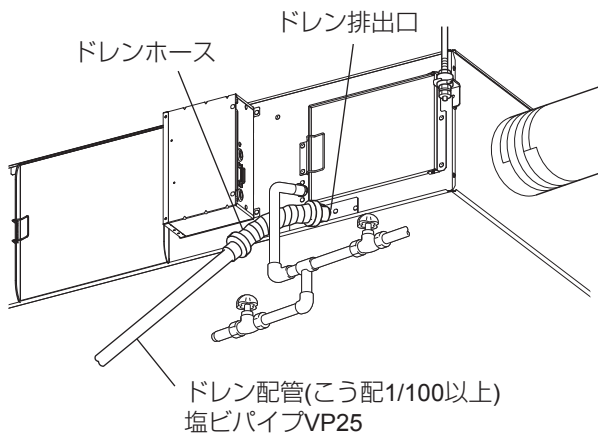


換算のしかた

1 MPa = 10.197kgf/cm²
目安として 1 kgf/cm² ≒ 0.1MPa で換算する

お願い

- 給水配管工事は、所轄水道局（水道事業者）指定の給水装置工事事業者の方が指定された配管材料を使用して施工してください。
- 給水温度は 5℃ ~ 40℃ 以下としてください。
- 排水弁およびサービス弁は点検口からとどく範囲に設置してください。
- 給水口に力が加わらないよう給水配管を固定してください。
- 給水に配管工事用切削油・洗浄液が混入しないようご注意ください。
- 給水配管およびドレン配管がメンテナンスカバー（ロスナイエレメント用および加湿用）の開閉および加湿エレメント、エリミネーターの取り出しの妨げにならないよう配管してください。
- 切削油などの油類は加湿エレメントおよびドレン皿を劣化させますので、供給水に切削油などが含まれないようにしてください。付着した場合には直ちに多量の水で洗い流してください。
- 給水装置の水圧検査時は、必ずサービス弁を閉じてから行ってください。



ドレン配管工事

1. 製品側のドレン排出口に付属のドレンホースを下向きに接続する。10ページ「注意点と作業手順」を参照ください。(排水性確保のため)
2. ドレンを取付け、配管の先端は必ず排水可能なところで導く。

⚠ 注意

ドレン配管の先端を雨どい等に入れない

大雪時、雨どいが凍結して排水されず、本体から水漏れする原因になります

ドレン配管の途中にドレンポンプ(ドレンアップメカ)を接続して排水を処理しない

製品の異常停止や、ドレンポンプの故障により水漏れし、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になります

3. 排水が排出されることを確認する。

- (1) メンテナンスカバーをあげる。(別冊の取扱説明書参照)

LGH-N15~N50タイプの場合

- ① カバー固定金具を矢印方向にはずす。
- ② メンテナンスカバーを手前に引いてカバーを開ける。

LGH-N65~N100タイプの場合

- ① カバー固定金具を矢印方向にはずす。
- ② メンテナンスカバーを手前に引いて上側に開ける。
- ③ メンテナンスカバーを手前に引きながら180°回転させ、下にスライドさせると開いた状態で固定されます。
※開いた状態で固定する場合、製品天面から天井までの距離は300mm以上必要です。

お願い

- LGH-N65~N100タイプのメンテナンスカバーは必ず180°回転させて固定されていることを確認してください。固定が不十分の場合、メンテナンスカバーが動いてけがをするおそれがあります。

■上部にスペースがない場合

左図のネジをはずしてメンテナンスカバーを取りはずす。

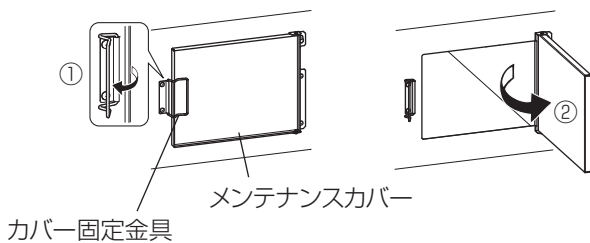
- (2) 全ての加湿エレメント、エリミネーターに倒れや傾き、ズレがないことを確認する。

お願い

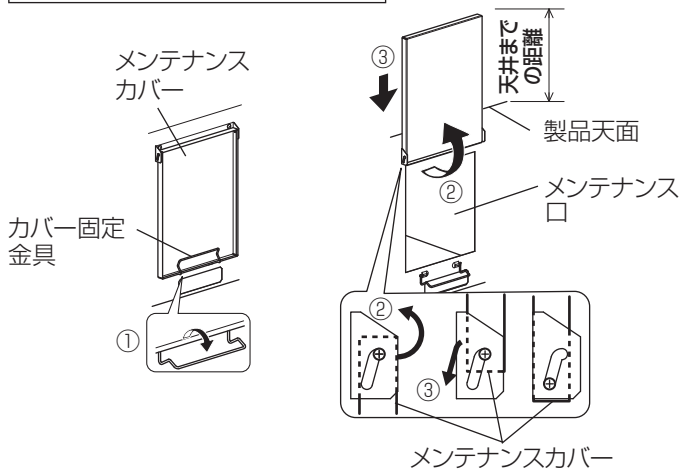
- 加湿エレメント、エリミネーターに倒れや傾き、ズレがあると水漏れの原因になる場合があります。必ず修正してください。

- (3) ドレン皿に約 1000cc 注水する。
- (4) ドレン配管の最終出口部で排水が排出されることを確認する。
- (5) メンテナンスカバーを元通り閉める。

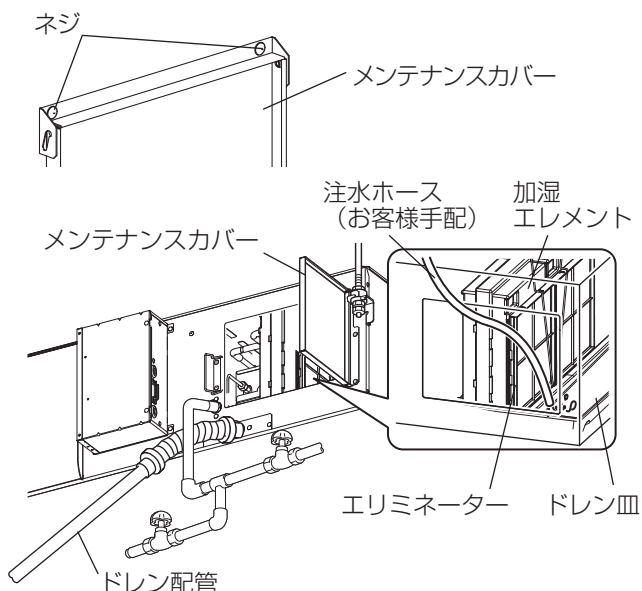
LGH-N15~N50タイプの場合



LGH-N65~N100タイプの場合



■上部にスペースがない場合



据付方法 つづき

注意点と作業手順

- ドレン配管の施工時は以下に示す事柄を必ず守ってください。
- ドレン配管は下りこう配(1/100以上)となるようにしてください。
- ドレン配管は、イオウ系ガスが発生する下水溝には、直接入れないでください。
- 接続部から水漏れのないように確実に施工してください。
- 水たれが起こらないように、断熱工事を確実に行ってください。
- 室内を通るドレン配管は、必ず市販の断熱材(発泡ポリエチレン比重0.03、厚さ10mm以上)を巻いてください。
 - ① 最上階または高湿多湿の条件下で使用する場合は、上記の厚さ以上にする必要があります。
 - ② 客先指定の仕様がある場合は、それに従ってください。
- 施工後、排水が排出されていることをドレン配管最終出口部で確認してください。
- ドレン配管は室外側(排水側)が下りこう配(1/100以上)となるようにし、途中にトラップや山越えを作らないようにしてください。
- 排水が逆流するおそれがありますので、ドレン配管の途中で内径を縮小しないでください。
- ドレン配管の横引きは20m(高低差は含みません)以下にし、横引きでの合流は設けないでください。
- ドレン配管が長い場合には途中に支持金具を設けてドレン配管の波打ちをなくしてください。通気管(エア抜き管)は絶対につけないでください。ドレンが吹出る場合があります。
- ドレン配管は硬質塩ビパイプ一般管VP25(外径φ32)を使用してください。
- 必ず付属のドレンホースを使用し、本体のドレン排出口と現地配管の距離は図1に従い、工事を行ってください。ドレンホースの透明カフスは必ずドレン配管側(排水の流れの可視化するため)に接続してください。
- ドレンホースに無理な引張・圧縮荷重がかからないようにしてください。
- ドレンホースの接合部は日本水道協会規格品の硬質塩化ビニール管用接着剤を使用し、接合および止水してください。また、差込部が抜けかないよう付属の結束バンドにて固定してください。
- 集合配管の場合、図2のように本体ドレン排出口より100mm以上低い位置に集合配管がくるようにしてください。
- ドレン配管の出口は臭気の発生するおそれのない場所に施工してください。

注) ・ ドレン配管スペースが横方向に取れない場合は、軟質塩ビカフス(現地手配)等による接続をお勧めします。
 ・ 天井内が高湿多湿雰囲気(露点温度26℃以上)で長時間運転されますと、ドレンホース部に結露する場合がありますので、そのような条件で使用する可能性がある場合は断熱材を貼付けるなどの処置をしてください。

作業手順 (基本例)

1. 付属のドレンホース④を本体ドレン排出口に取付け、すき間が無いように奥まで差し込む。(折れ・詰まりが起こらないように45°曲げ以下で使用してください)(接着剤にて接着し、付属の結束バンド(小)⑥で締付ける)
2. 現地手配のドレン配管(塩ビパイプ、VP25)を取付ける。(接着剤にて接着し、結束バンド(小)⑥で締付ける)
3. 付属のドレンホース用断熱材⑤にて、本体ドレン排出口部を断熱し、付属の結束バンド(大)⑥で締付ける。(大・小の結束バンドは、かさならないように締め付けてください)
4. 断熱工事を行う。(塩ビパイプ、VP25 およびソケット(エルボ含))
5. 排水性を確認する。(9ページを参照ください)

図1 「ドレンホースの取付方法」

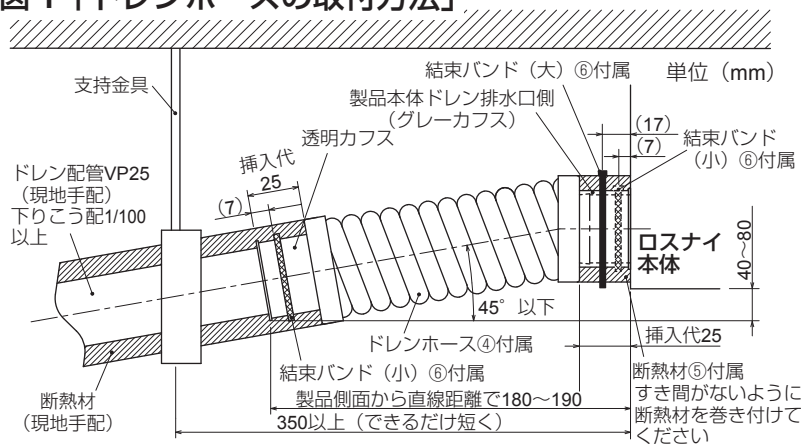
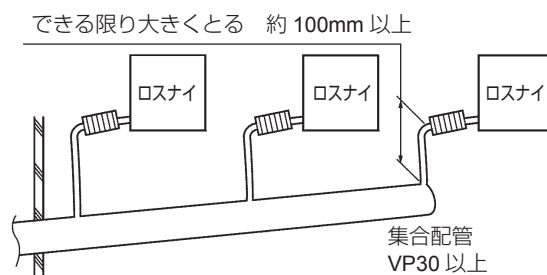


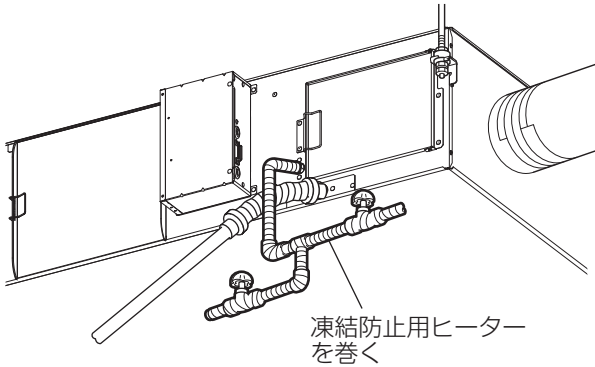
図2 「集合配管する場合」



注意

- ドレン配管は、確実に排水するよう配管し、結露が生じないように保温してください。配管工事に不備があると水漏れし、家財等を濡らす原因になります。
- ドレンホース接続時に使用する接着剤は、必ず日本水道協会規格品の硬質塩化ビニール管用接着剤を使用してください。それ以外を使用すると、水漏れし、家財を濡らす原因になります。
- 集合配管につながる他製品の運転の影響により配管内部の圧力が上昇し、排水されにくくなる場合があります。配管内の圧力が上がらないようご注意ください。

凍結防止工事



給水配管に凍結防止用ヒーター(市販品)を巻き凍結防止を行う。

- 凍結防止用ヒーターはロスナイ本体(給水口)まで巻く。
- 冬期(加湿時期)に、凍結するおそれのある地域では必ずヒーターの電源を入れる。



警告

凍結のおそれのある地域では、給水配管に必ず凍結防止工事を行う

電磁弁・配管などが破損し、水漏れの原因になります

電気工事

この製品はシステム構成により電気工事の方法が異なります。それぞれ必要な部分の電気工事を行う。



警告

定格電圧、制御容量範囲内で使用する

間違った電源を使用すると、火災や感電の原因になります。

電気工事は、電気工事士の資格のあるかたが「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および、据付工事説明書に従って据付けし、必ず専用回路とし、かつ定格の電圧・ブレーカーを使用する電源回路容量不足や取付不備があると感電、火災の原因になります。

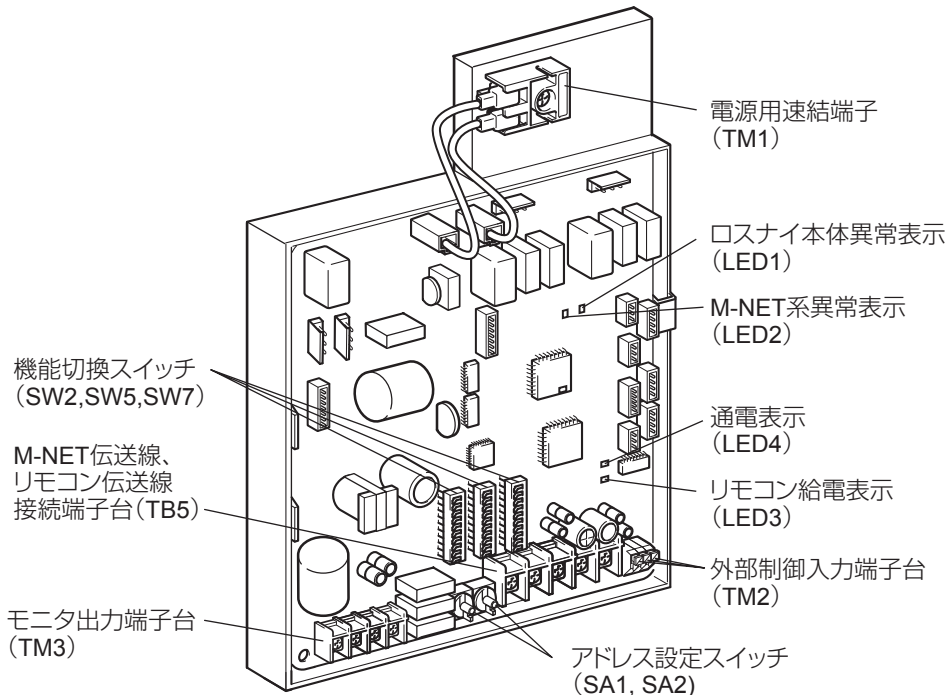
端子台接続部は指定の電線を使用して、抜けないよう確実に接続する接続に不備があると火災の原因になります。

お願い

1. 電源には、必ず漏電ブレーカーを取付けてください。
2. 配線の接続はネジの緩みのないように確実に行ってください。
3. リモコン用・伝送線用端子台には 100V、200V 電源を接続しないでください。(故障します)
4. 伝送線と他の伝送線および電源線とは 5 cm以上離して配線してください。
5. 電源線・伝送線等はメンテナンスのじゃまにならないように配線工事をしてください。

コントロールボックス内の名称

※一部結線を省略しています。



据付方法 つづき

結線図

※太線および破線部分を結線する。

・詳細は本体の結線銘板をご確認ください。

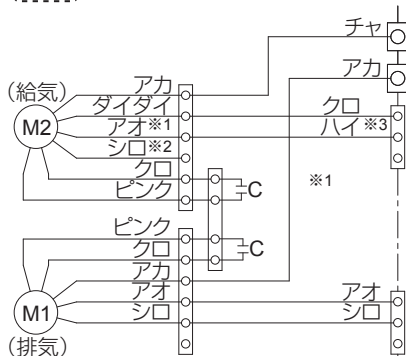
LGH-NRKC2

※本体内部結線はLGH-N50RKX2を示す。

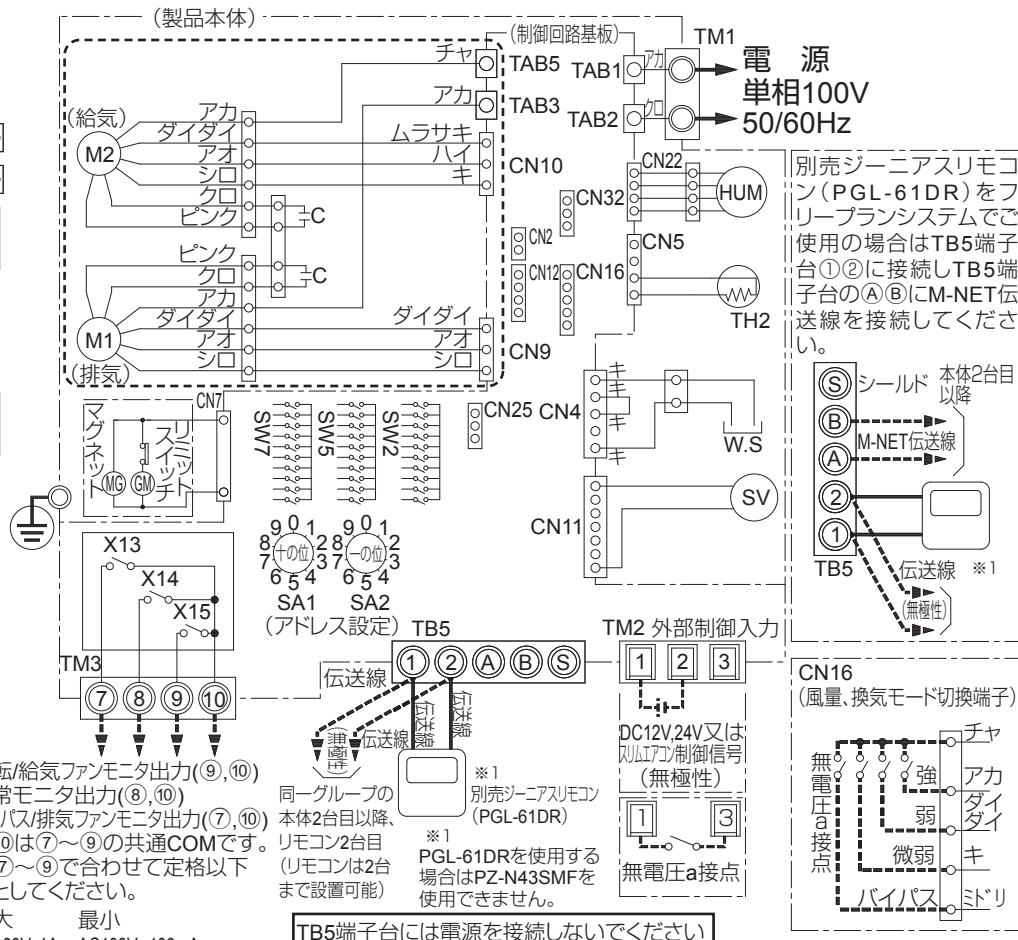
漏電保護用に電源側に漏電ブレーカーを設けてください

LGH-N15・N25RKX2

LGH-N15・N25RKX2は右図の()内のみ下記となります。



LGH-N25RKX2の場合は、※1はシロ、※2はアオ、※3はキとなります。

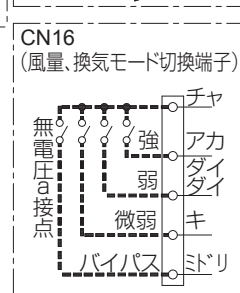
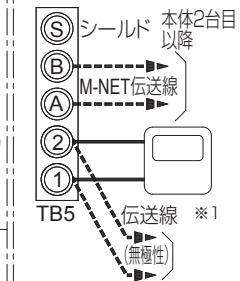


運転/給気ファンモニタ出力(⑨,⑩)
異常モニタ出力(⑧,⑩)
バイパス/排気ファンモニタ出力(⑦,⑩)
※⑩は⑦～⑨の共通COMです。
⑦～⑨で合わせて定格以下としてください。

最大	最小
AC100V 1A	AC100V 100mA
AC200V 1A	AC200V 100mA
DC 24V 1A	DC 5V 100mA

TB5端子台には電源を接続しないでください

別売ジーニアスリモコン(PGL-61DR)をフリープランシステムで使用する場合はTB5端子台①②に接続しTB5端子台の(A)(B)にM-NET伝送線を接続してください。



記号説明 (100V、200V共通)

記号	名称	記号	名称
M1	送風機用電動機 (排気)	TM1	端子台 (AC電源入力)
M2	送風機用電動機 (給気)	TM2	端子台 (外部制御入力接続)
C	コンデンサ	TM3	端子台 (バイパス・異常・運転モニタ出力)
GM	バイパスダンパー用電動機	CN2	コネクタ (CO ₂ センサー部材接続用)
HUM	温湿度センサ (外気温湿度検知用)	CN12	コネクタ (CO ₂ センサー部材接続用)
TH2	サーミスタ (還気温度検知)	CN16	コネクタ (風量・換気モード切換入力)
SW2	機能切換用スイッチ	CN25	コネクタ (外部加湿・ヒューミディ入力)
SW5	機能切換用スイッチ	CN32	コネクタ (遠方入力)
SW7	機能切換用スイッチ	TAB1,TAB2	ファストン端子 (速結端子接続用)
SA1	アドレス設定用スイッチ (10の位) *1	X13	リレー接点 (バイパスモニタ出力用)
SA2	アドレス設定用スイッチ (1の位) *1	X14	リレー接点 (異常モニタ出力用)
TB5	端子台 (リモコン伝送線・PGL-61DR等接続: 無極性2線) (M-NET伝送線接続: 無極性2線) *1	X15	リレー接点 (運転モニタ出力用)
		W.S	水検知センサー
		SV	給水電磁弁

*1はフリープラン制御の場合に使用します。

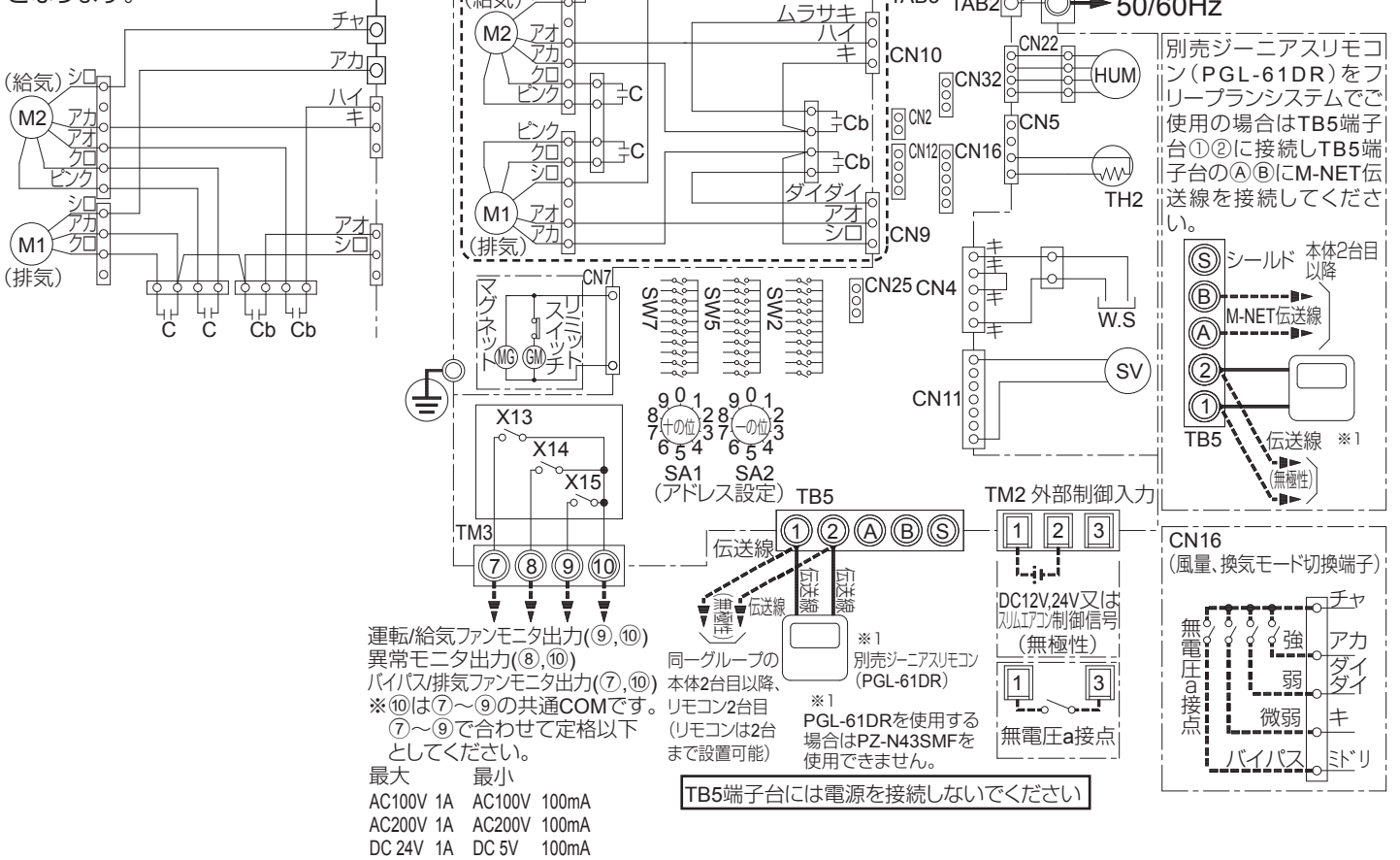
LGH-NRKK2D

※本体内部結線はLGH-N50RKX2Dを示す。

漏電保護用に電源側に漏電ブレーカーを設けてください

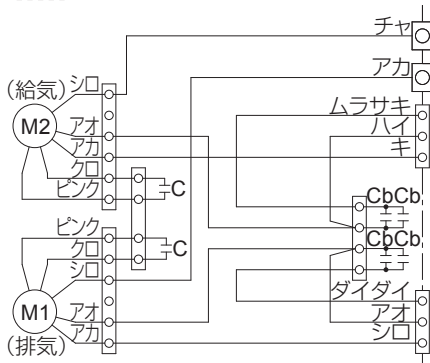
LGH-N15・N25RKX2D

LGH-N15・N25RKX2Dは右図の()内のみ下記となります。



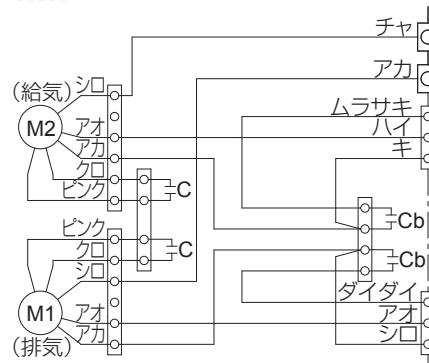
LGH-N65RKX2D

LGH-N65RKX2Dは上図の()内のみ下記となります。



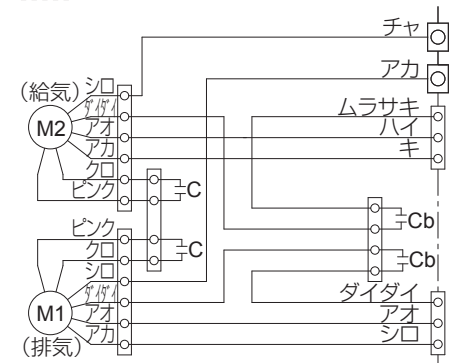
LGH-N80RKX2D

LGH-N80RKX2Dは上図の()内のみ下記となります。



LGH-N100RKX2D

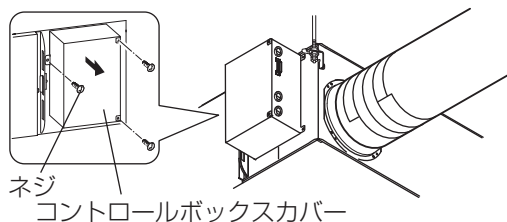
LGH-N100RKX2Dは上図の()内のみ下記となります。



据付方法 つづき

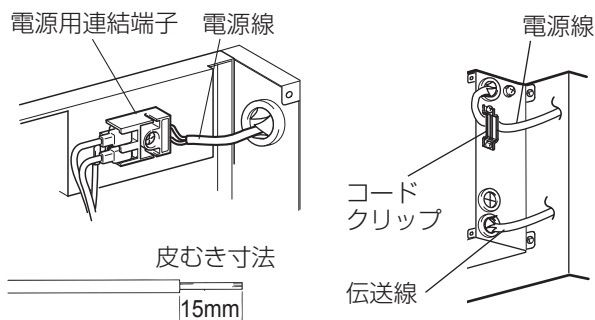
電源線接続のしかた

1



ネジ3本をはずして、コントロールボックスカバーをはずす。

2



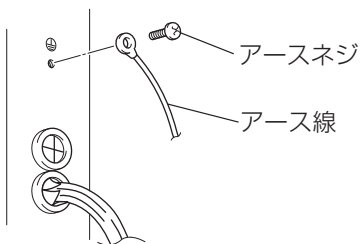
電源線（単線φ1.6 例VVF）を電源用速結端子に表示されている皮むきゲージに合わせ皮むきし、電源用速結端子に確実に差し込む。

●電源線はコードクリップで固定する。

お願い

- 電線の皮むき寸法は15mmとしてください。皮むき寸法が長すぎますと芯線同士が接触して短絡するおそれがあります。
- 電源線と伝送線は、誤動作防止のため5cm以上離して配線してください。
- 電源線を伝送線端子台に接続しないように注意してください。
- 必ず漏電ブレーカーを設置してください。

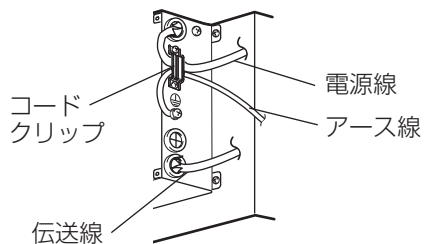
3



アース工事

- 1.コントロールボックスカバーに締め付けてあるアースネジをはずして、アース線を取付ける。
- 2.結線が終わったら、元通りコントロールボックスカバーを取付ける。

4



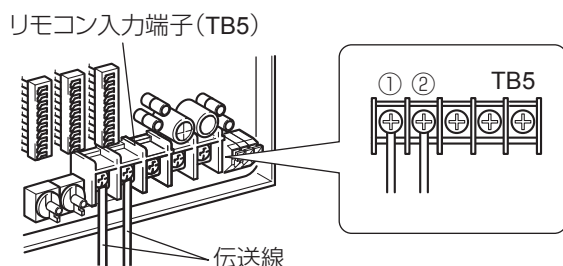
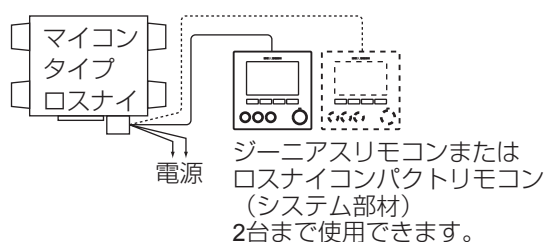
各配線を固定する

- 電源線とアース線をコードクリップで固定する。

システム構成 ……必要なところを接続してください。

- 1 ジーニアスリモコン (PGL-61DR) 、ロスナイコンパクトリモコン(PZ-N43SMF)と接続する場合
- 2 「空調機などの外部機器」と連動する場合
- 3 外部機器からの信号でロスナイの加湿器を運転する場合
- 4 ビル管理システム等パルス出力機器と連動する場合
- 5 ロスナイを複数台運転する場合
- 6 複数の外部機器と連動する場合
- 7 異常信号・普通換気 (バイパス換気) 信号を取り出す場合
- 8 電動ダンパーなどと接続したり、運転信号を取り出す場合
- 9 ヒューミディスタット等と接続する場合
- 10 外部で風量の強/弱/微弱切換をする場合 (市販のCO₂センサー等と接続する場合)
- 11 外部で普通換気 (バイパス換気) にする場合
- 12 遠方/手元切換・発停入力 (レベル信号) を使用する場合
- 13 三菱フリープラン空調機または、三菱ビル空調管理システム (MELANS) と接続する場合

1 ジーニアスリモコン (PGL-61DR)、ロスナイコンパクトリモコン (PZ-N43SMF) と接続する場合



※三菱フリープラン空調機または三菱ビル空調管理システム (MELANS) と接続する場合は **13** の結線方法に従ってください。

ジーニアスリモコンまたはロスナイコンパクトリモコンからの伝送線をリモコン伝送線入力端子 (TB5) の①②に確実に接続する。(無極性)

線種：2 芯シース付ケーブル

線径：0.3mm²

以下の別売ケーブルも使用できます。

PAC-YT81HC (10m) , PAC-YT82HC (20m)

- リモコンが 2 台ある場合も同様に接続してください。
- ロスナイとリモコン間の伝送線総延長は下記の通りとしてください。

ジーニアスリモコンの場合：200m

ロスナイコンパクトリモコンの場合：200m

お願い

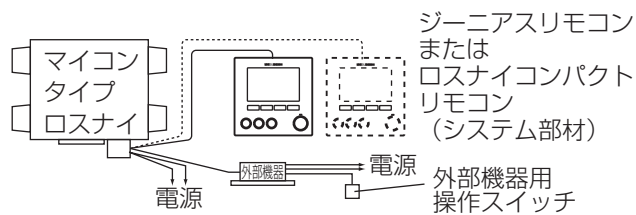
- 端子台のネジは 0.5N・m より大きなトルクで締めないでください。基板が破損するおそれがあります。
- 電源線および M-NET 伝送線を接続しないように注意してください。

メモ

- 1 つの入力端子に接続できる伝送線は 4 本までです。
- PVC 線等の単線は接続できません。
- ジーニアスリモコンとロスナイコンパクトリモコンは併用できません。

据付方法 つづき

2 「空調機などの外部機器」と連動する場合



(1) 外部機器の出力信号線を外部制御入力端子 (TM2) に接続します。

外部機器の出力信号のタイプにより接続方法が異なります。

(2) パルス入力スイッチ (SW2-2) が「OFF」になっているか確認します。(出荷状態は「OFF」に設定されています)

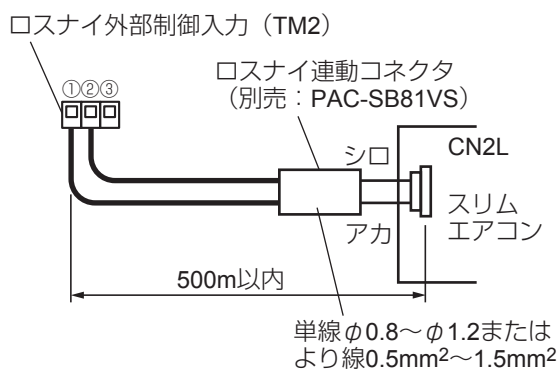
お願い

- 線の抜き差し時、端子を 0.5N・m より大きな力で押さえないでください。

メモ

- ジーニアスリモコンとロスナイコンパクトリモコンは併用できません。

当社製スリムエアコン+ MA リモコンのとき



ロスナイ連動ケーブルのコネクタ側を室内ユニット基板上の CN2L に接続し、リード線側をロスナイ外部制御入力端子 (TM2) の①②に接続する。(無極性)

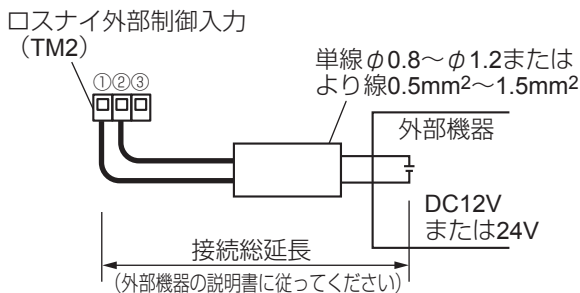
- ロスナイ連動ケーブルと電源線は、誤動作防止のため、5cm 以上離して配線してください。

メモ

- このシステムではロスナイのジーニアスリモコンおよびロスナイコンパクトリモコンは使用できません。
- ロスナイの運転/停止および風量の切り替えはスリムエアコンの MA リモコンにて行ってください。
- 換気モードは「自動換気切り換えモード」になります。
- スリムエアコンが暖房運転のとき、加湿器が運転します。

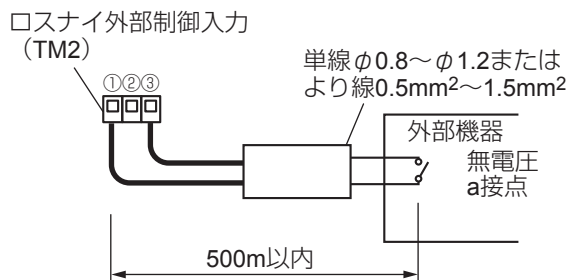
外部機器の運転信号が有電圧 DC12V または 24V のとき

- お客様手配の伝送線を介して外部機器からの運転信号を外部制御入力端子 (TM2) の①②に接続する。(無極性) DC12V または DC24V 入力時運転します。ON 時間および OFF 時間は 10 秒以上にしてください。



外部機器の運転信号が無電圧 a 接点のとき

- お客様手配の伝送線を介して外部機器からの運転信号を外部制御入力端子 (TM2) の①③に接続する。接点 ON (閉) 時運転します。ON 時間および OFF 時間は 10 秒以上にしてください。



お願い

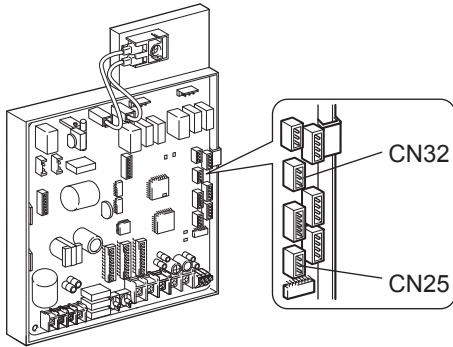
- 無電圧 a 接点にフォトプラ等の有極性接点を使用する場合は⊕側を③に⊖側を①に接続してください。

3 外部機器からの信号でロスナイの加湿器を運転する場合

回路基板コネクタ CN25 に別売の遠方発停用アダプター (PAC-SE55RA) を使用して①ダイダイ、③チャに外部機器の信号を入力する。

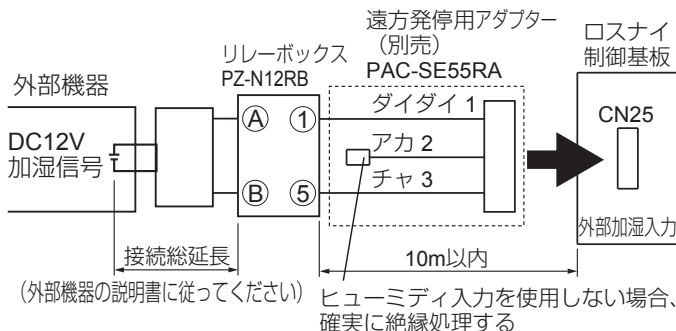
お願い

- CN25 と CN32 は同一形状のため、間違えないように接続してください。
- CN32 も使用する場合は、外部機器を CN32 側のリード線に接続しないように注意してください。

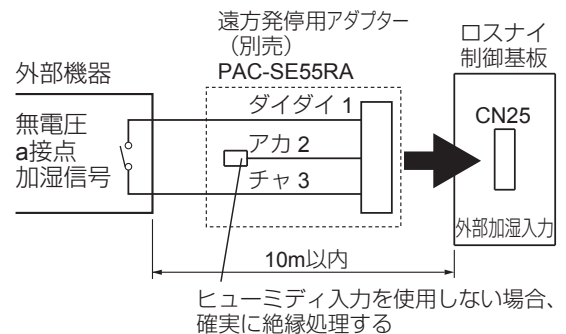


外部機器の信号が有電圧 DC12V のとき

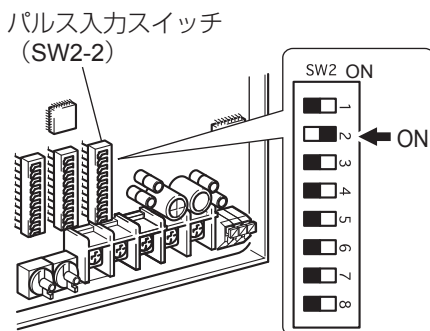
- 外部機器の加湿信号をお客様手配の伝送線を通じて取り出し、更にシステム部材のリレーボックス (PZ-N12RB) を介して遠方発停用アダプター (PAC-SE55RA) に接続する。



外部機器の信号が無電圧 a 接点のとき



4 ビル管理システム等パルス出力機器と連動する場合



- (1) パルス入力スイッチ (SW2-2) を「ON」にします。(機能設定 1 「パルス入力の設定」参照)
- (2) ビル管理システム等のパルス信号出力を外部制御入力端子 (TM2) に接続します。

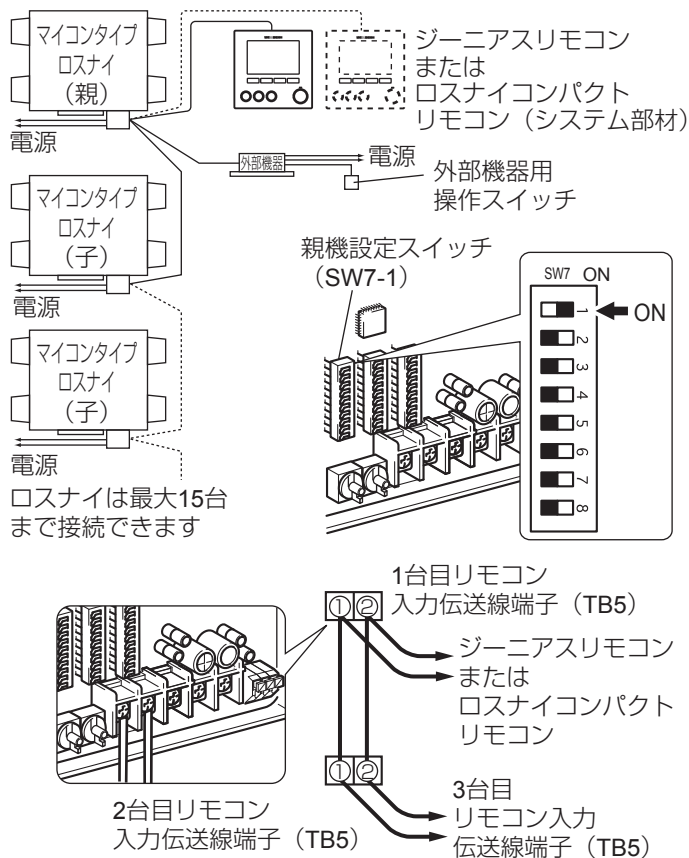
パルス信号のタイプにより接続方法が異なります。

- 2 「外部機器の運転信号が有電圧のとき」または、「外部機器の運転信号が無電圧 a 接点のとき」を参照してください。

- パルス幅は 200msec 以上必要です。OFF 時間は 10 秒以上としてください。
- ジーニアスリモコン (PGL-61DR) を使用時はリモコンからも設定できます。パルス信号が入力されるごとに、運転 / 停止が反転します。

据付方法 つづき

5 ロスナイを複数台運転する場合



- (1) ロスナイ 1 台目から 2 台目へ 2 台目から 3 台目へ…
最大 15 台までを伝送線で接続する。
線種：2 芯シース付ケーブル
線径：0.3mm²
- (2) 外部機器と連動する場合、外部信号を入力するロスナイの親機設定スイッチ (SW7-1) を「ON」に切換えます。

- お願い**
- 端子台のネジは 0.5N・m より大きなトルクで締めないでください。基板が破損するおそれがあります。
- メモ**
- 1 つの入力端子に接続できる伝送線は、4 本までです。
 - PVC 線等の単線は接続できません。
 - 親機設定のロスナイは 1 台のみとしてください。親機設定のロスナイのみ外部機器の運転信号・パルス信号の接続ができます。
 - 外部機器の信号を入力しない場合は、ロスナイ複数台運転であっても親機設定は必要ありません。
 - 各ロスナイはそれぞれに電源を接続してください。
 - ジーニアスリモコンとロスナイコンパクトリモコンは併用できません。

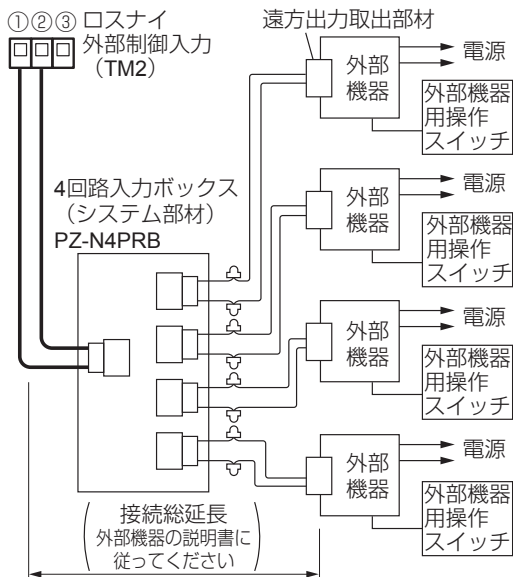
6 複数の外部機器と連動する場合

当社製スリムエアコンの DC12V シリアル信号は複数台運転できませんので、遠方出力取出部材を介して無電圧 a 接点信号を利用してください。

お願い ● 線の抜差時、端子台を 0.5N より大きな力で押さえないでください。

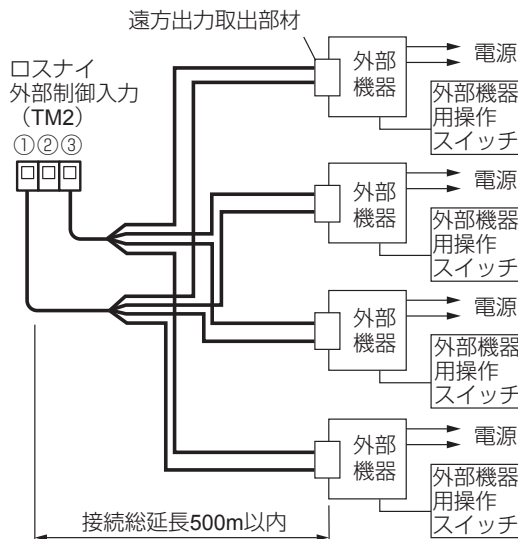
外部機器の運転信号が有電圧 DC12V のとき

- システム部材の 4 回路入力ボックス (PZ-N4PRB) を使用して、外部制御入力端子 (TM2) の①②に接続する。(無極性)



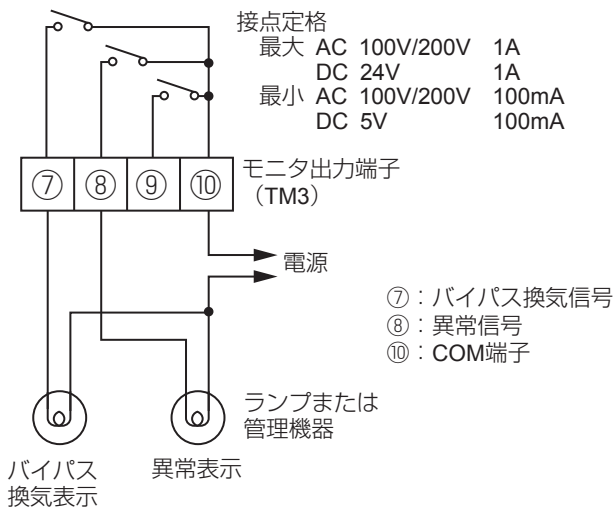
外部機器の運転信号が無電圧 a 接点のとき

- 無電圧 a 接点で遠方出力取出部材を介して外部制御入力端子 (TM2) の①③に接続する。



- お願い**
- 無電圧 a 接点にフォトプラ等の有極性接点を使用する場合は⊕側を③に⊖側を①に接続してください。

7 異常信号・普通換気（バイパス換気）信号を取り出す場合



結線図を参照してモニタ出力端子 (TM3) の⑦⑩または⑧⑩に接続する。

EA ファンモニタとして使用する場合は、バイパス換気信号は取り出せません。

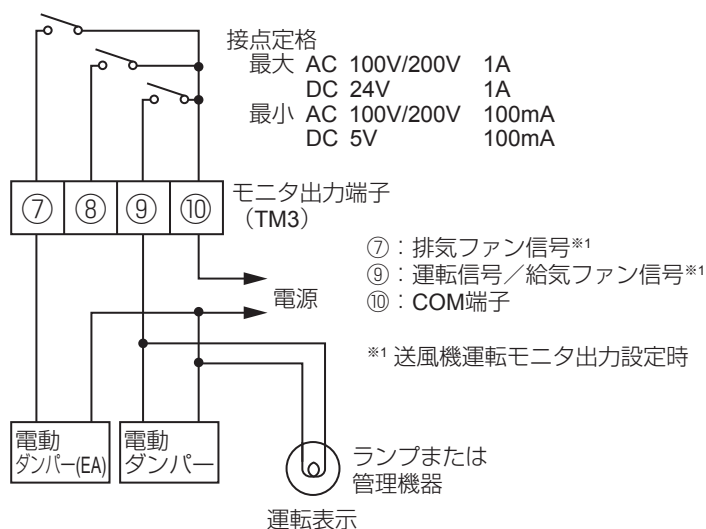
適用線種 (推奨) :

単線φ 0.8 ~ φ 1.2 またはより線 0.5mm² ~ 1.5mm²

お願い

- 端子台のネジは 0.5N・m より大きなトルクで締めないでください。基板が破損するおそれがあります。
- 手元リモコン、システムコントローラを使用しない場合、モニタ出力端子 (TM3) の⑦⑧を使って異常信号を取り出せるようにしてください。

8 電動ダンパー等と接続したり、運転信号を取り出す場合



結線図を参照して電動ダンパーからの電源線をモニタ出力端子 (TM3) の⑦⑩、⑨⑩に接続し、出力を設定してください

※電動ダンパーを接続する場合は、機能設定の変更が必要です。設定方法は「機能設定」を参照してください。

適用線種 (推奨) :

単線φ 0.8 ~ φ 1.2 またはより線 0.5mm² ~ 1.5mm²

お願い

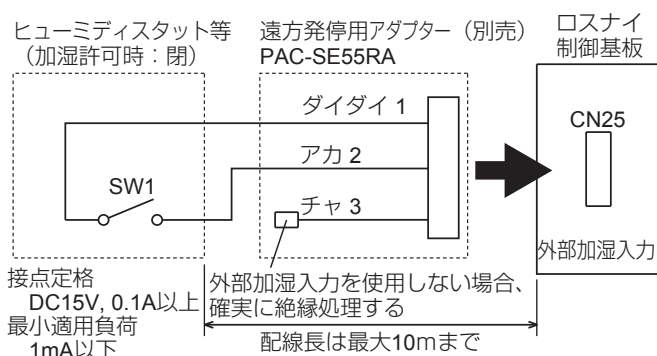
- 端子台のネジは 0.5N・m より大きなトルクで締めないでください。基板が破損するおそれがあります。
- 電動ダンパー、補助送風機を設置する場合は、設置する風路に合わせて送風機運転モニタ出力に設定を変更してください。運転モニタ出力 (工場出荷時) で使用した場合、加湿エレメントの乾燥時間で十分な乾燥を行うことができません。
- 加湿準備運転時は給気送風機が停止するため電動ダンパー等は給排個別の結線を実施してください。

メモ

- 運転モニタ出力として使用する場合、外部入力信号に対する応答時間は、下表のようになります。

外部信号形態	応答時間
レベル信号	最大 7 sec
パルス信号	最大 200 msec

9 ヒューミディスタット等と接続する場合



回路基板コネクタ CN25 に別売の遠方発停用アダプター (PAC-SE55RA) を使用して、①ダイダイ、②アカにヒューミディスタット等を接続する。

※ ジーニアスリモコン (PGL-61DR) 使用の場合、「加湿自動」選択時のみ本機能は有効になります。

※ 「機能設定 14 ヒューミディスタット入力設定」の設定が必要になります。

お願い

- CN25 と CN32 を間違えないように注意してください。

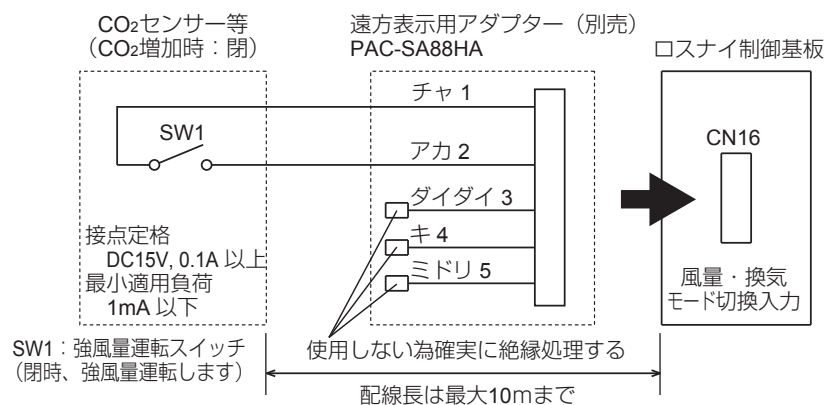
据付方法 つづき

10 外部で風量の強 / 弱 / 微弱切替をする場合 (市販の CO₂ センサー等と接続する場合)

市販の CO₂ センサー等を使用し図のように、コネクタ (風量・換気モード切替入力) CN16 へ別売の遠方表示用アダプター (PAC-SA88HA) を差し込んで結線する。

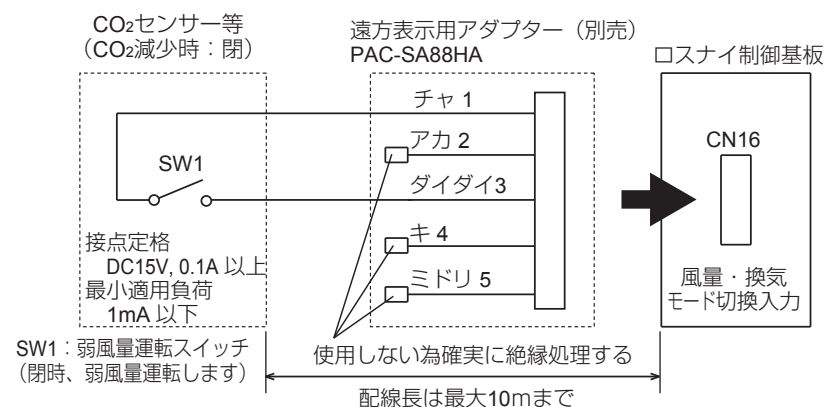
※マルチ換気モードを使用する場合は、マルチ換気モードの設定が優先されます。

■外部で風量を強制強運転させる場合



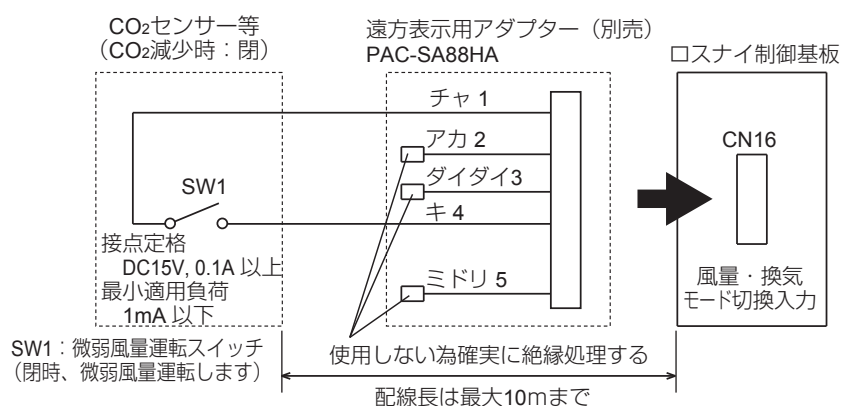
SW1 ON 時はリモコンの設定に関係なくロスのナイの風量は強 (特強) となります。常時弱または微弱運転で換気を行い、外部のセンサーで室内空気の汚れを検知したときに強 (特強) 運転になるような使い方をします。

■外部で風量を強制弱運転させる場合



SW1 ON 時はリモコンの設定に関係なくロスのナイの風量は弱となります。常時強運転で換気を行い、外部のセンサーで室内空気の汚れが少ないときに弱運転となるような使い方をします。

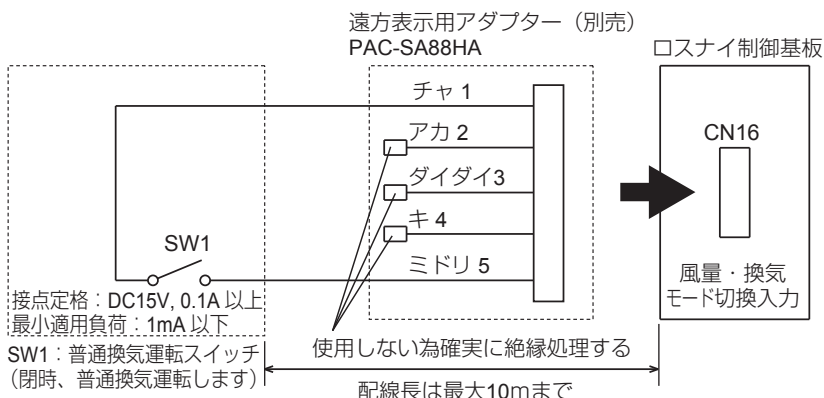
■外部で風量を強制微弱運転させる場合



SW1 ON 時はリモコンの設定に関係なくロスのナイの風量は微弱となります。常時強運転で換気を行い、外部のセンサーで室内空気の汚れが少ないときに微弱運転となるような使い方をします。

11 外部で普通換気（バイパス換気）にする場合

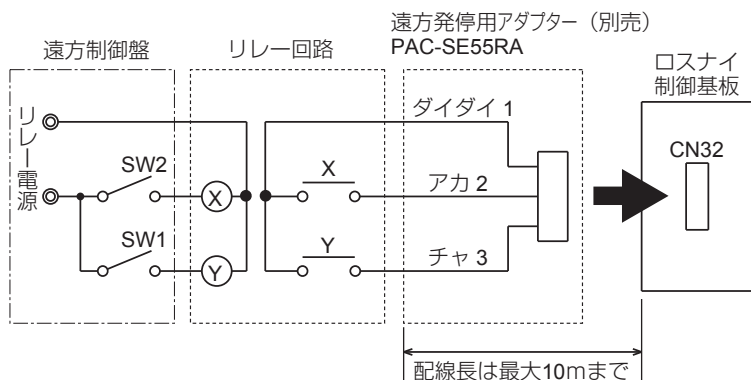
コネクタ（風量・換気モード切換入力）CN16 へ別売の遠方表示用アダプター（PAC-SA88HA）を差し込んで結線する。



SW1 ON 時はリモコンの設定に関係なくロスナイの換気モードは普通換気となります。
※ 外気相対湿度が 80%以上、または外気温度が 8℃以下のときは熱交換換気となります。

12 遠方 / 手元切換・発停入力（レベル信号）を使用する場合

ロスナイ制御基板上の CN32 へ別売の遠方発停用アダプター（PAC-SE55RA）を差し込む。



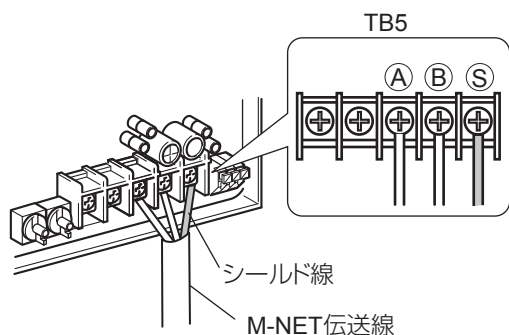
- SW1：ON 時はジーニアスリモコン（PGL-61DR）またはロスナイコンパクトリモコン（PZ-N43SMF）での運転/停止ができません。
 - SW2：SW1 ON 時、SW2 の ON でロスナイ運転、SW2 の OFF でロスナイ停止ができます。
- SW1：遠方 / 手元切換スイッチ
SW2：発停スイッチ
X, Y：リレー（接点定格 DC15V, 0.1A 以上、最小適用負荷 1mA 以下）

お願い

- 本機能でロスナイの運転 / 停止を行う場合、遠方入力からの停止操作を優先させるため、加湿エレメント乾燥運転（詳細は取扱説明書を参照）を行いません。加湿エレメント内に水分を残したまま長時間放置すると腐敗臭を発生するおそれがあります。長時間製品を使用しない場合は給水を止めて製品を運転させ加湿エレメントの乾燥（強風量、ロスナイ換気で 6 時間以上）を行ってください。
- CN25 と CN32 を間違えないように注意してください。

据付方法 つづき

13 三菱フリープラン空調機または、三菱ビル空調管理システム (MELANS) と接続する場合



アドレス設定が必要です。(機能設定参照)

M-NET 伝送線……

空調機または三菱ビル空調管理システム (MELANS) のいずれかをロスナイの端子台 (TB5) ①②につなぎます。

種類 (シールド線 CVVS・CPEVS)

線径 1.25mm² 以上

ジーニアスリモコン (PGL-61DR) またはロスナイコンパクトリモコン (PZ-N43SMF) :

端子台 (TB5) の①②に接続する。(1「ジーニアスリモコン (PGL-61DR) またはロスナイコンパクトリモコン (PZ-N43SMF) と接続する場合」参照)

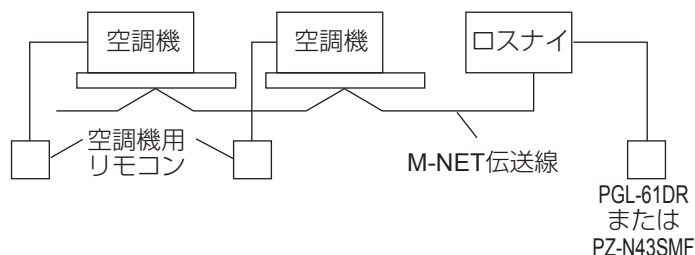
※ジーニアスリモコンとロスナイコンパクトリモコンとの併用はできません。

お願い

- 端子台のネジは 0.5N・m より大きなトルクで締めないでください。基板が破損するおそれがあります。
- M-NET 伝送線には必ずシールド線を使用し、シールド処理を行ってください。
- 電源線およびジーニアスリモコン、ロスナイコンパクトリモコン伝送線を接続しないように注意してください。

当社製マルチエアコンと連動する場合

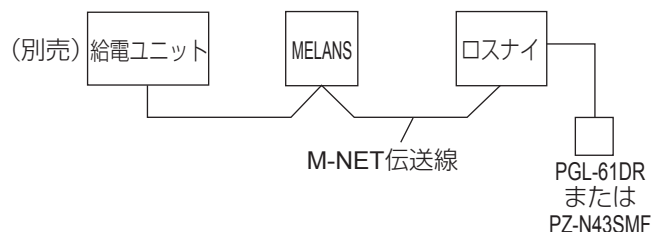
- PGL-61DR または PZ-N43SMF の場合



※ 伝送線の総配線長は 500m までとしてください。なお、ロスナイと給電ユニット (別売) または室外機との配線長は 200m までとしてください。

リモコンおよび MELANS と接続する場合

- 給電ユニットを接続する。



メモ

- 下記の緊急停止入力による停止では、加湿エレメント乾燥機能等によりファンが回る場合があります。
 - ・ ON/OFF リモコン (PAC-YT40ANR-W1) (※ 1)
 - ・ コントローラ下位設定のシステムリモコン (PAC-SF50AT (1)) (※ 1)
- 下記使用の BACnet[®] からの火災制御による停止信号、および BACnet[®] からの緊急停止 (個別) 指令による停止では、加湿エレメント乾燥機能等によりファンが回る場合があります。
 - ・ BM アダプター (PAC-YW01BAC) (※ 1)

※ 1 : 2016 年 10 月時点の生産機種。既設の生産終了機種については、販売店へお問い合わせください。

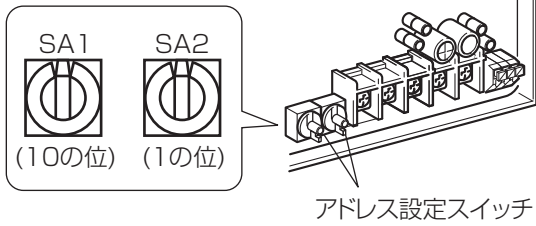
※ BACnet[®] は ASHRAE: American Society of Heating, Refrigerating and Air-Conditioning Engineers, Inc. の登録商標です。

機能設定

三菱フリープラン空調機、MELANS と接続する場合はアドレス設定が必要です。

アドレス設定のしかた

必ず元電源を切った状態で行ってください。



ロスナイ専用のアドレス設定をする場合は下記により行ってください。

(ユニットアドレスの決めかたについては現地のシステム)により異なりますので技術資料等を参照してください。

- ネジ 3 本をはずしてコントロールカバーをはずす。
- 基板上的アドレス設定スイッチを、マイナスドライバー等で回す。
 - (SA1) は 10 の位、(SA2) は 1 の位を示します。
 - 工場出荷時は「00」です。

※アドレス番号を変更しますと、メモリ内のデータの一部分が自動的にリセットされます。

機能切換スイッチ (SW2, 5, 7) の切換え

基板上的機能切換スイッチ (SW2, 5, 7) にて必要な機能設定を行います。

*の機能はジーニアスリモコン (PGL-61DR) から設定できます。あとからジーニアスリモコンで機能を切換えた場合、「本体回路 SW 優先」以外を設定した場合はジーニアスリモコンから設定に従って動作します。

※ジーニアスリモコンからの機能設定方法は、ジーニアスリモコン (PGL-61DR) の据付工事説明書を参照してください。

お願い

- 工事終了後、機能設定によりロスナイの機能を変更した場合は、必ず設定内容を各表のチェック欄に○印などで記入して確認してください。(ジーニアスリモコンから機能設定した場合、ジーニアスリモコン故障時にわからなくなってしまう)

本体回路基板を交換したときは、ジーニアスリモコンの機能設定を含め、交換前と同じ設定にしてください。

(SW2)		(SW5)		(SW7)	
1	<input type="checkbox"/> 送風機・ダンパー・加湿器試運転	1	<input type="checkbox"/> 遅延の設定 *	1	<input type="checkbox"/> 親機設定
2	<input type="checkbox"/> パルス入力の設定 *	2	<input type="checkbox"/> モニタ出力設定 (運転 / 給気) *	2	<input type="checkbox"/> 自動換気切換モード時絶対湿度制御 *
3	<input type="checkbox"/> 運転開始時パワー給排気の切換え設定 *	3	<input type="checkbox"/> 排気送風機動作設定 *	3	<input type="checkbox"/> 別売部材設定スイッチ * (別売部材を使用しない場合は OFF のこと)
4	<input type="checkbox"/> マルチ換気モード (給気側) *	4	<input type="checkbox"/> 停電自動復帰 *	4	<input type="checkbox"/> 使用しません (OFF のこと)
5	<input type="checkbox"/> マルチ換気モード (排気側) *	5	<input type="checkbox"/> フィルターのメンテナンス表示設定 *	5	<input type="checkbox"/> 使用しません (OFF のこと)
6	<input type="checkbox"/> 電源発停機能 *	6	<input type="checkbox"/> 高湿度間欠運転設定 A *	6	<input type="checkbox"/> 高湿度間欠運転設定 B *
7	<input type="checkbox"/> 加湿自律有効の設定 *	7	<input type="checkbox"/> 連動モード設定 *	7	<input type="checkbox"/> 24 時間換気設定時停止動作 *
8	<input type="checkbox"/> 加湿操作の設定	8		<input type="checkbox"/> モニタ出力設定 (バイパス / 排気) *	
9	<input type="checkbox"/> 給気 特強 / 強 * (LGH-N15 タイプ LGH-N25 タイプ は使用しません (OFF のこと))	9	<input type="checkbox"/> ヒューミディスタット入力設定 *	9	<input type="checkbox"/> 使用しません (OFF のこと)
10	<input type="checkbox"/> 排気 特強 / 強 *	10	<input type="checkbox"/> 使用しません [100V 機種: OFF のこと 200V 機種: ON のこと]	10	<input type="checkbox"/> 使用しません (OFF のこと)

- パルス入力の設定
- 運転開始時パワー給排気の切換え設定
- マルチ換気モードの切換え設定
- 電源発停機能および停電自動復帰機能の設定
- 加湿自律有効の設定
- 加湿操作の設定 (加湿器自動運転)
- 普通換気 (バイパス換気) 優先自動換気 特強 / 強切換設定
- 遅延の設定 (空調機冷暖房起動時の遅延動作)
- モニタ出力設定

- 排気送風機動作設定
- フィルターのメンテナンス表示の設定
- 連動モードの設定
- ヒューミディスタット入力設定
- 親機設定
- 自動換気切換モード時絶対湿度制御
- 高湿度間欠運転設定
- 24 時間換気設定時停止動作

機能設定 つづき

1 パルス入力の設定

ビル管理システム等からのパルス信号機器を外部入力に接続して利用する場合に設定します。

本体回路			ジーニアスリモコン (PGL-61DR)			モード
OFF	ON	チェック	機能設定 No.	機能設定値	チェック	
SW2	2	<input type="checkbox"/>	28	1	<input type="checkbox"/>	パルス入力なし (工場出荷時)
	2	<input checked="" type="checkbox"/>		2	<input type="checkbox"/>	パルス入力あり

※ ジーニアスリモコンの機能設定値は工場出荷時「0」（本体回路 SW 優先）になっています。

2 運転開始時パワー給排気の切換え設定

運転開始時、30 分間は強（特強）固定で運転させる場合に設定します。30 分後はリモコンからの風量操作に切替わります。夜間停止時に室内の空気が汚れ、運転開始後急速換気したい場合に使用します。

本体回路			ジーニアスリモコン (PGL-61DR)			動作
OFF	ON	チェック	機能設定 No.	機能設定値	チェック	
SW2	3	<input type="checkbox"/>	8	1	<input type="checkbox"/>	通常 (工場出荷時)
	3	<input checked="" type="checkbox"/>		2	<input type="checkbox"/>	運転開始時、30 分間強（特強）固定

※ マルチ換気モードを使用する場合は、マルチ換気モードの設定が優先されます。

※ ジーニアスリモコンの機能設定値は工場出荷時「0」（本体回路 SW 優先）になっています。

3 マルチ換気モードの切換え設定

使用環境や設置場所に応じた給排気バランスを選択させる場合に設定します。設定できるモードは4種類です。

本体回路			ジーニアスリモコン (PGL-61DR)			モード	動作	
OFF	ON	チェック	機能設定 No.	機能設定値	チェック			
SW2	4	<input type="checkbox"/>	6	No.6=1	<input type="checkbox"/>	パワー給排気 *1 通常 (工場出荷時)	風量操作により強（特強）・弱が切替わります。	
	5	<input checked="" type="checkbox"/>		No.7=1	<input type="checkbox"/>			
	4	<input checked="" type="checkbox"/>		7	No.6=1	<input type="checkbox"/>	パワー給気 *1	排気側は風量を弱で運転します。 給気側は風量の強（特強）・弱が切替わります。
	5	<input type="checkbox"/>			No.7=2	<input type="checkbox"/>		
4	<input type="checkbox"/>	7	No.6=2	<input type="checkbox"/>	パワー排気 *1	給気側は風量を弱で運転します。 排気側は風量の強（特強）・弱が切替わります。		
5	<input checked="" type="checkbox"/>		No.7=1	<input type="checkbox"/>				
4	<input type="checkbox"/>	7	No.6=2	<input type="checkbox"/>	省エネ換気 *1	給排気は風量を弱で運転します。 風量の強 / 弱によらず省エネ換気固定。		
5	<input checked="" type="checkbox"/>		No.7=2	<input type="checkbox"/>				

*1 ジーニアスリモコンをご使用の場合、風量ボタン操作で微弱にすると給気側排気側とも微弱風量で運転します。微弱風量の給排気独立運転は行えません。

※ ジーニアスリモコンの機能設定値は工場出荷時「0」（本体回路 SW 優先）になっています。

4 電源発停機能および停電自動復帰機能の設定

ロスナイに供給する元電源（100V または 200V）の入・切により運転・停止を行う場合に設定します。また、停電後、電源復旧したときの運転状態を設定します。

本体回路			ジーニアスリモコン (PGL-61DR)			モード	動作	
OFF	ON	チェック	機能設定 No.	機能設定値	チェック			
SW2-6 SW5-4	2-6 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5	1	<input type="checkbox"/>	電源発停無効 停電自動復帰なし (工場出荷時)	電源投入時停止	
	5-4 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						
	2-6 <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>				2	電源発停有効	電源入・切で運転・停止可能
	5-4 <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>						
2-6 <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3	停電自動復帰あり	電源投入時、停電前のモードで運転				
5-4 <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>							

※ ジーニアスリモコンの機能設定値は工場出荷時「0」（本体回路 SW 優先）になっています。

※ 電源発停機能を使用する場合、加湿エレメント乾燥運転機能が動きません。加湿エレメント内に水分を残したまま長時間放置すると、腐敗臭を発生するおそれがあります。長時間製品を使用しない場合は、給水を止め製品を運転させ、加湿エレメントの乾燥（強風量、ロスナイ換気で約 6 時間以上）を行ってください。

※ 手元リモコンを設置しない場合、運転異常時に点検ナンバーが表示されません。モニタ出力端子（TM3）の⑧⑩を使って異常信号を取り出せるようにしてください。

5 加湿自律有効の設定

中間期や夏期（外気温度が 12℃以上）に自動で加湿器を停止させたい場合に設定します。

本体回路			ジーニアスリモコン (PGL-61DR)			動作
OFF	ON	チェック	機能設定 No.	機能設定値	チェック	
SW2	7 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	11	1	<input type="checkbox"/>	無効（工場出荷時） 外気温度 12℃以上での加湿運転許可
	7 <input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>				2

※ ジーニアスリモコンを使用する場合は、加湿モード切換が「自動」のときのみ有効となります。

※ ジーニアスリモコンの機能設定値は工場出荷時「0」（本体回路 SW 優先）になっています。

6 加湿操作の設定（加湿器自動運転）

手元リモコンを使用しない場合、空調機と連動しない場合など外部からの加湿操作がないときに設定します。

本体回路			モード
OFF	ON	チェック	
SW2	8 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	手元リモコンの加湿モード切換、または空調機の暖房運転に連動して加湿運転をします（工場出荷時）
	8 <input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ロスナイの運転 / 停止で、加湿運転 / 停止します

※ 外気温度 12℃以上で加湿器を停止させたい場合は、SW2-7 を ON にしてください。

※ ロスナイを複数台運転の場合は 1 台のみ親機設定（SW7-1 ON）をして、親機のみ本設定をしてください。

7 普通換気（バイパス換気）優先自動換気

ロスナイ本体内部に組み込まれた 2 つの温度センサーにより室内、外気温度を検知し、自動的に「ロスナイ換気」と「普通換気（バイパス換気）」に切替えますが、「普通換気（バイパス換気）」を優先に設定するモードです。

ジーニアスリモコン (PGL-61DR)			動作
機能設定 No.	機能設定値	チェック	
10	0	<input type="checkbox"/>	通常（工場出荷時）
	2	<input type="checkbox"/>	普通換気優先モード

機能設定 つづき

8 特強 / 強切換設定

風量を多く必要とする場合や、ダクト配管が長い場合に切換えます。

※ LGH-N15, N25 タイプは本スイッチを OFF 設定のままにしてください。ON にすると正常に動作しません。

本体回路			ジーニアスリモコン (PGL-61DR)			動 作
OFF	ON	チェック	機能設定 No.	機能設定値	チェック	
SW2	9	<input type="checkbox"/>	16	1		給気送風機 強運転 (工場出荷時)
	9	<input checked="" type="checkbox"/>		2		給気送風機 特強運転
	10	<input type="checkbox"/>	17	1		排気送風機 強運転 (工場出荷時)
	10	<input checked="" type="checkbox"/>		2		排気送風機 特強運転

※ ジーニアスリモコンの機能設定値は工場出荷時「0」(本体回路 SW 優先) になっています。

※ 1つのリモコンでアドレス設定していないロスナイを複数台運転する場合、ジーニアスリモコンから機能設定するとすべてのロスナイが同じ設定に変更されます。

LGH-N15, N25 タイプが同一グループに接続されているジーニアスリモコンからは設定変更しないでください。

9 遅延の設定 (空調機冷暖房起動時の遅延動作)

当社空調機との連動で空調機が運転開始したとき、または外部機器が運転開始したとき、設定した時間だけ遅れてロスナイが運転するモードです。

本体回路			ジーニアスリモコン (PGL-61DR)			動 作
OFF	ON	チェック	機能設定 No.	機能設定値	チェック	
SW5	1	<input type="checkbox"/>	9	1		通常 (工場出荷時)
		— *1		2		遅延動作 15 分
	1	<input checked="" type="checkbox"/>		3		遅延動作 30 分

※ ジーニアスリモコンの機能設定値は工場出荷時「0」(本体回路 SW 優先) になっています。

※ 手元リモコンにロスナイコンパクトリモコンを用い、空調冷熱総合管理システム AE-200J 等で集中制御を行う場合、24 時間換気運転、ナイトパーシ運転中は通常動作となります。

*1 ジーニアスリモコンからのみ設定可能です。

10 モニタ出力設定

本体回路			ジーニアスリモコン (PGL-61DR)			出力端子	動 作
OFF	ON	チェック	機能設定 No.	機能設定値	チェック		
SW5	2	<input type="checkbox"/>	12	1		TM3 ⑨⑩	モニタ出力設定 ロスナイ運転時モニタ出力 ON (閉) (工場出荷時)
	2	<input checked="" type="checkbox"/>		2			給気ファンモニタ出力設定 給気用送風機の動作時にモニタ出力 ON (閉)
SW7	8	<input type="checkbox"/>	44	1		TM3 ⑦⑩	バイパスモニタ出力設定 ダンパー動作が普通換気時にモニタ出力 ON (閉) (工場出荷時)
	8	<input checked="" type="checkbox"/>		2			排気ファンモニタ出力設定 排気用送風機の動作時にモニタ出力 ON (閉)

※ ジーニアスリモコンの機能設定値は工場出荷時「0」(本体回路 SW 優先) になっています。

11 排気送風機動作設定

以下の条件で給気用送風機が停止したときの排気用送風機の動作風量を設定します。

- ・当社空調機とダクト接続時に空調機が霜取中
- ・加湿準備運転中
- ・外気温度 - 15℃以下

ジーニアスリモコンからは、空調機霜取中、加湿準備運転中と外気温度 - 15℃以下について、別々に排気用送風機の動作風量を設定することができます。

本体回路			動作			
	OFF	ON	チェック			
SW5	3	<input type="checkbox"/>		空調機霜取中 加湿準備運転中 外気温度 - 15℃以下	風量変化なし (工場出荷時)	
	3	<input checked="" type="checkbox"/>		空調機霜取中 加湿準備運転中 外気温度 - 15℃以下		停止 弱風量

ジーニアスリモコン (PGL-61DR)				動作
給気用送風機停止	機能設定 No.	機能設定値	チェック	
空調機霜取中 加湿準備運転中	13	1	<input type="checkbox"/>	停止
		2	<input type="checkbox"/>	風量変化なし
外気温度 - 15℃以下	14	2	<input type="checkbox"/>	弱風量
		3	<input type="checkbox"/>	風量変化なし

※ ジーニアスリモコンの機能設定値は工場出荷時「0」（本体回路 SW 優先）になっています。

12 フィルター等のメンテナンス表示の設定

フィルターのメンテナンス表示を行わない場合に設定します。

工場出荷時はフィルターメンテナンス表示する（3000 時間）に設定されています。

※ ジーニアスリモコンをご使用の場合はロスナイエレメントの清掃時期（6000 時間）、加湿エレメントの清掃時期（1250 時間）の表示も可能です。

本体回路			ジーニアスリモコン (PGL-61DR)			メンテナンス表示
	OFF	ON	機能設定 No.	機能設定値	チェック	
SW5	5	<input type="checkbox"/>	1	1	<input type="checkbox"/>	フィルターメンテナンス表示する（3000 時間）（工場出荷時）
	5	<input checked="" type="checkbox"/>		2	<input type="checkbox"/>	フィルターメンテナンス表示しない
-	-	*1	2	0	<input type="checkbox"/>	ロスナイエレメントメンテナンス表示しない（工場出荷時）
	-			1	<input type="checkbox"/>	ロスナイエレメントメンテナンス表示する（6000 時間）
-	-	*1	3	0	<input type="checkbox"/>	加湿エレメントメンテナンス表示しない（工場出荷時）
	-			1	<input type="checkbox"/>	加湿エレメントメンテナンス表示する（1250 時間）

※ 機能設定 No1 のジーニアスリモコンの機能設定値は工場出荷時「0」（本体回路 SW 優先）になっています。

*1 ジーニアスリモコンからのみ設定可能です。

お願い

- ロスナイ運転時間により 3000 時間が経過しますと、空調機またはロスナイのリモコンにフィルターの清掃時期を表示します。清掃後リモコンの取扱説明書によってリセット操作を行い、積算時間をリセットしてください。

機能設定 つづき

13 連動モードの設定

外部機器の運転・停止・加湿信号に対してロスナイをどのようにして動作させるか設定します。

SW5	本体回路			ジーニアスリモコン (PGL-61DR)			モード	動作 (上段: 運転動作、下段: 加湿動作)	
	OFF	ON	チェック	機能設定 No.	機能設定値	チェック			
7 8	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		15	1		ON/OFF 連動 (工場出荷時)	外部機器の運転・停止によりロスナイが運転・停止する。 リモコンまたは MELANS による後押し操作可能。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>						外部機器の加湿信号によりロスナイが加湿運転・停止する。	
	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>					2	ON 連動	外部機器が運転すればロスナイも運転。 停止はリモコンまたは MELANS による。
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							ON/OFF 連動時と同じ
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		3	OFF 連動	外部機器が停止すればロスナイも停止。 運転はリモコンまたは MELANS による。				
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>				ON/OFF 連動時と同じ				
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		4	外部入力優先	外部機器の運転・停止によりロスナイが運転・停止する。 外部機器の停止時のみリモコンまたは MELANS 操作有効。				
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>				外部機器の加湿信号によりロスナイが加湿運転・停止する。 外部機器の加湿信号停止時のみリモコンの加湿操作有効。				

※ ジーニアスリモコンの機能設定値は工場出荷時「0」(本体回路 SW 優先)になっています。

14 ヒューミディスタット入力設定

市販のヒューミディスタット等を遠方発停用アダプター (PAC-SE55RA) を使用して回路基板コネクター CN25 に接続して外部からの信号で加湿制御を行う場合、設定します。
工場出荷時は「無効」に設定されています。

SW5	本体回路			ジーニアスリモコン (PGL-61DR)			モード	動作
	OFF	ON	チェック	機能設定 No.	機能設定値	チェック		
9	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		25	1		無効	ヒューミディスタットを使用しません (工場出荷時)
	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>						2

※ リモコンの機能設定値は工場出荷時「0」(機能切換スイッチ優先)になっています。

※ ジーニアスリモコンを使用する場合、ヒューミディスタット入力設定をした製品を「15 親機設定」することで複数台運転が可能になります。

※ ジーニアスリモコンを使用して同一グループ内のロスナイを個別のヒューミディスタット等で加湿制御する場合、機能設定 No.34 を設定値「1」に設定してください。

※ ジーニアスリモコンを使用する場合、加湿モード切換が「自動」のときのみ、ヒューミディスタット等の加湿制御が有効となります。

15 親機設定

ロスナイ複数台運転時、外部機器 (空調機、CO₂ センサー、ヒューミディスタットなど) の信号を入力する製品、または「加湿操作の設定 (SW2-8 ON)」をする製品を親機に設定します。
同一グループ内では親機設定は 1 台のみとしてください。

SW7	本体回路			モード	動作
	OFF	ON	チェック		
1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		—	外部信号を入力しません (工場出荷時)
	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		親機	外部信号を入力します

* 外部機器の信号を入力しない場合、または「加湿操作の設定」をしない場合はロスナイ複数台運転であっても親機設定は必要ありません。

16 自動換気切換モード時絶対湿度制御

ロスナイ本体内部に組み込まれた2つの温度センサーにより室内、外気温度を検知し、自動的に「ロスナイ換気」と「普通換気（バイパス換気）」に切換えますが、ロスナイ本体内部に組み込まれた外気湿度センサーにより外気湿度を検知し、極端に低湿度、極端に高湿度の空気を「普通換気（バイパス換気）」で換気しないで、「ロスナイ換気」で換気するモード（絶対湿度制御）です。

ジーニアスリモコンからは高湿度側、低湿度側それぞれの絶対湿度の閾値の設定変更が可能です。

本体回路			動作
OFF	ON	チェック	
SW7	2	<input type="checkbox"/>	絶対湿度制御有効（工場出荷時） 高湿度側閾値：0.017kg/kg (DA) 低湿度側閾値：0.005kg/kg (DA)
	2	<input checked="" type="checkbox"/>	絶対湿度制御無効

※ ジーニアスリモコンの機能設定値は工場出荷時「0」（本体回路 SW 優先）になっています。

機能設定		ジーニアスリモコン (PGL-61DR)							
機能設定 No.	絶対湿度制御 高湿度側の設定	機能設定値	1	2	3	4	5	6	7
				チェック					
		動作	絶対湿度制御 無効	高湿度側閾値 0.012kg/kg (DA) (25℃ 60%RH相当)	高湿度側閾値 0.013kg/kg (DA) (25℃ 65%RH相当)	高湿度側閾値 0.014kg/kg (DA) (25℃ 70%RH相当)	高湿度側閾値 0.015kg/kg (DA) (26℃ 70%RH相当)	高湿度側閾値 0.016kg/kg (DA) (27℃ 70%RH相当)	高湿度側閾値 0.017kg/kg (DA) (28℃ 70%RH相当)
機能設定 No.	絶対湿度制御 低湿度側の設定	機能設定値	1	2	3	4	5	6	7
		チェック							
		動作	絶対湿度制御 無効	低湿度側閾値 0.005kg/kg (DA) (17℃ 40%RH相当)	低湿度側閾値 0.006kg/kg (DA) (20℃ 40%RH相当)	低湿度側閾値 0.007kg/kg (DA) (23℃ 40%RH相当)	低湿度側閾値 0.008kg/kg (DA) (25℃ 40%RH相当)	低湿度側閾値 0.009kg/kg (DA) (25℃ 45%RH相当)	低湿度側閾値 0.010kg/kg (DA) (25℃ 50%RH相当)

17 高湿度間欠運転設定（高湿度外気浸入防止機能設定）

本製品には屋外の霧、もやなどの高湿度空気を製品内部の湿度センサーにて検知して、機外に水漏れをおこさない範囲で換気を可能なかぎり継続できるように、自動で換気量を減らす機能を備えています。

ご使用になられる地域ごとに設定を切換えてください。

工場出荷時は、高湿度間欠運転無効に設定されています。

本機能使用時は別売システム部材「深形フード」を併用してください。

本体回路			ジーニアスリモコン (PGL-61DR)			モード	選択目安	動作
OFF	ON	チェック	機能設定 No.	機能設定値	チェック			
5-6	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	43	1		無効	—	外気が高湿度の場合でも、間欠運転を実施しません。（工場出荷時）
7-6	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		4		霧多発地域以外 （換気優先）	霧多発地域以外の地域で第1種換気を継続したい場合	高湿度な外気（およそ相対湿度80%以上）を本体内部の外気湿度センサーにて検出し、給排気用送風機の両方を自動的に微弱風量に変更し、運転を継続します。
5-6	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		2		霧多発地域以外 （霧対策優先）	霧多発地域以外の地域で上記以外の場合 （換気優先よりも高湿度外気浸入を防止する効果が 高くなります。）	高湿度な外気（およそ相対湿度80%以上）を本体内部の外気湿度センサーにて検出すると、高湿度空気の検知時間（回数）によって、間欠運転のステージが変化し、下表の時間だけ給排気用送風機の両方を停止し、その後センシング運転となります。 ・センシング運転時間：4分
7-6	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		3		霧多発地域*1	山間部、湖、海岸など高湿度な空気発生のある地域	

※ ジーニアスリモコンの機能設定値は工場出荷時「0」（本体回路 SW 優先）になっています。

※ 補助送風機（ブースターファン等）を併用して高湿度外気浸入防止設定する場合は「霧多発地域」または「霧多発地域以外（霧対策優先）」をご選択ください。「霧多発地域以外（換気優先）」設定でご使用になると水漏れの原因となります。

機能設定 つづき

※ 下記に記載の霧多発地域、または視程 50m ~ 200m の濃い霧が 3 時間以上 / 日 発生する地域では、『霧多発地域』に設定してください。
 下記に記載した以外の地域で霧が 6 時間以上 / 日 発生する地域では『霧多発地域以外 (換気優先)』または『霧多発地域以外 (霧対策優先)』に設定してください。

	間欠運転ステージ				
	0 ステージ	1st ステージ	2nd ステージ	3rd ステージ	4th ステージ
霧多発地域以外 (霧対策優先)	通常運転 (停止なし)	1 時間停止	2 時間停止	3 時間停止	4 時間停止
霧多発地域			4 時間停止	9 時間停止	16 時間停止

*1 霧多発地域

(霧・もや：視界範囲が 10km 以下となる高湿度状況)
 ・ 視程 50m ~ 200m の濃い霧が 3 時間以上 / 日 発生する地域
 ・ 山間部、湖、海岸など高湿度な空気発生のある地域
 ・ 1 か月に複数回、1 晩以上霧が継続して発生する地域
 (右表は上記にあてはまる地域を気象庁「気象統計情報」より抽出したものです。
 右表以外の地域でも上記にあてはまる地域は霧多発地域となります)

都道府県名	地域名
北海道	稚内、北見枝幸、釧路、雄武、紋別、網走、寿都、江差、苫小牧、室蘭、浦河、帯広、根室
青森	八戸
岩手	宮古
宮城	石巻
福島	小名浜
栃木	奥日光
千葉	銚子、館山
静岡	石廊崎、御前崎
長野	軽井沢
高知	室戸岬
長崎	平戸、雲仙岳
熊本	阿蘇山

お願い

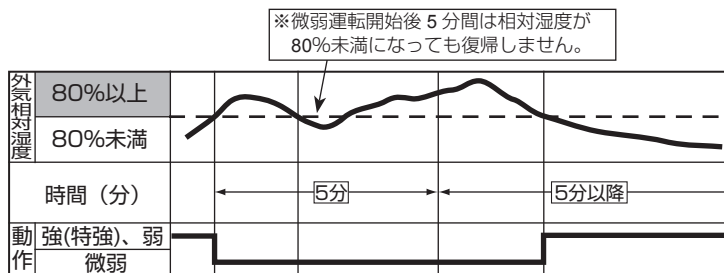
- 非常に濃い霧 (視程 50m 以下) を吸い込む場合には製品から漏水するおそれがありますので運転を停止してください。

高湿度間欠運転制御 タイムチャート

■ 霧多発地域以外 (換気優先) の場合

開始条件：外気相対湿度 80%以上を検知した場合

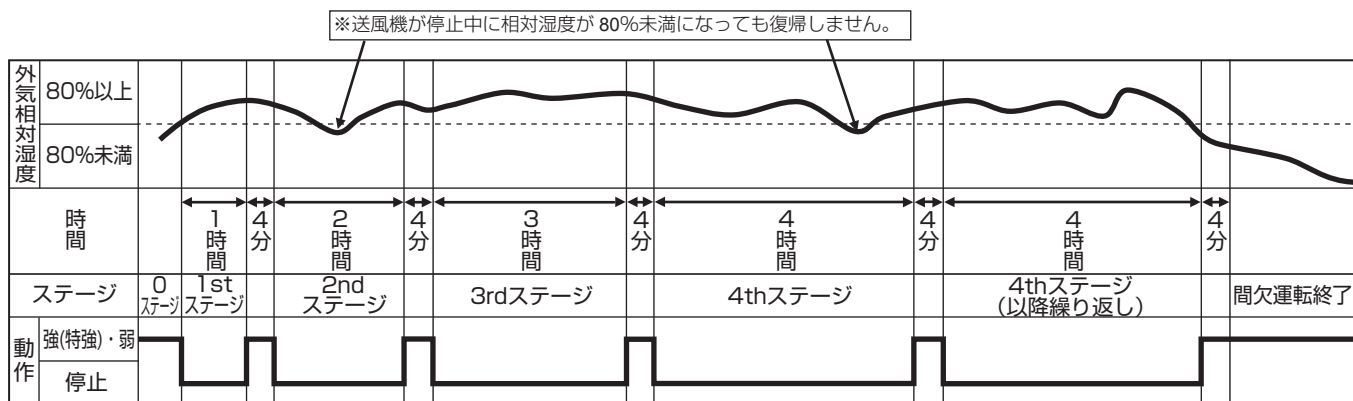
復帰条件：微弱風量に固定されて 5 分以上経過後、外気相対湿度 80%未満を検知した場合



■ 霧多発地域以外 (霧対策優先) の場合

開始条件：外気相対湿度 80%以上を検知した場合

復帰条件：センシング運転終了時に外気相対湿度 80%未満を検知した場合



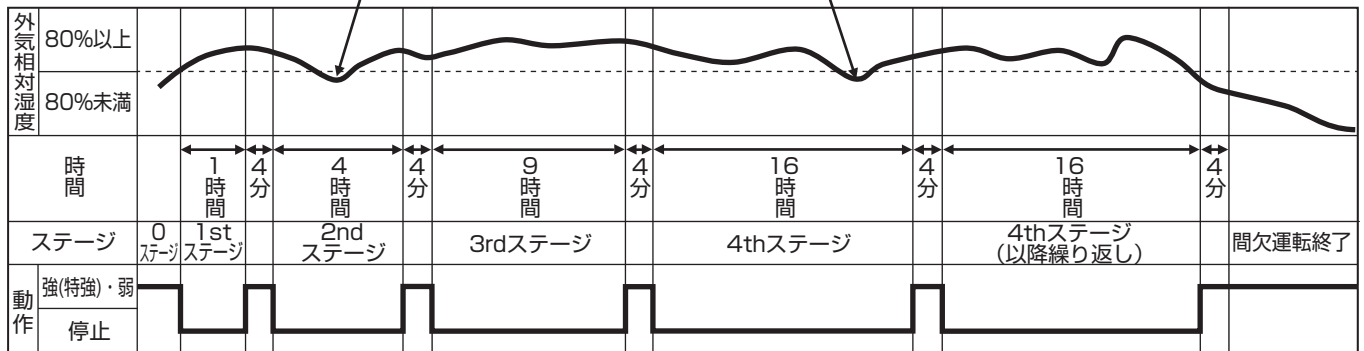
※センシング運転中の風量は強 (特強) になります。

霧多発地域の場合

開始条件：外気相対湿度 80%以上を検知した場合

復帰条件：センシング運転終了時に外気相対湿度 80%未満を検知した場合

※送風機が停止中に相対湿度が 80%未満になっても復帰しません。



※センシング運転中の風量は強（特強）になります。

18 24 時間換気設定時停止動作

ジーニアスリモコンを用いて 24 時間換気設定をしている場合に、連動制御している外部機器や空調機、24 時間換気に非対応のシステムコントローラからの停止信号でのロスナイの動作を設定します。

SW7	本体回路		ジーニアスリモコン (PGL-61DR)			動作	
	OFF	ON	チェック	機能設定 No.	機能設定値		チェック
SW7	7	<input type="checkbox"/>		26	1		24 時間換気非対応のシステムコントローラの停止信号: ロスナイも停止する 連動制御している外部機器、空調機の停止信号 : ロスナイも停止する (工場出荷時)
	7	<input checked="" type="checkbox"/>			2		24 時間換気非対応のシステムコントローラの停止信号: ロスナイが 24 時間換気に移行する 連動制御している外部機器、空調機の停止信号 : ロスナイが 24 時間換気に移行する
	-	*1			3		24 時間換気非対応のシステムコントローラの停止信号: ロスナイも停止する 連動制御している外部機器、空調機の停止信号 : ロスナイが 24 時間換気に移行する
	-	*1			4		24 時間換気非対応のシステムコントローラの停止信号: ロスナイが 24 時間換気に移行する 連動制御している外部機器、空調機の停止信号 : ロスナイも停止する

※ ジーニアスリモコンの機能設定値は工場出荷時「0」（本体回路 SW 優先）になっています。

*1 ジーニアスリモコンからのみ設定可能です。

据付工事後の確認

本体の据付工事が終わりましたら、下表にしたがってもう一度点検してください。不具合がありましたら必ず直してください。

試運転前に下記事項をご確認いただき、必ずチェックボックス☑をチェック願います。

(1) 製品据付チェック

- 同梱されている付属部品を確認しましたか？ 【外形寸法図 P4 参照】
- 室外側ダクトは、LGH-N15 ~ N65 タイプは 1m 以上、 【標準据付例 P5 参照】
LGH-N80・N100 タイプは 2.5m 以上の距離を確保していますか？
- 室外側ダクトは壁側に向かって 1/30 以上の下りこう配を確保していますか？ 【標準据付例 P5 参照】
- 本体の据付角度は水平もしくはドレン排出口が下になるように 1° 以内ですか？ 【据付方法 P7 参照】
- 室外側ダクト 2 本には断熱材を巻き付けてありますか？ 【据付方法 P8 参照】
- ドレン配管、給水配管は正しく配管されていますか？ 【据付方法 P9, 10 参照】
- 給水配管等の断熱工事は完全に行いましたか？ 【据付方法 P11 参照】
- 全ての加湿エレメント、エリミネーターに倒れや傾き、ズレが無いことを確認しましたか？ 【据付方法 P9 参照】
- 排水性の確認を行いましたか？ 【据付方法 P9 参照】

(2) 電気工事チェック

- 電源と本体形名、リモコンの組合せは正しいですか？ 【据付方法「システム構成」P15 参照】
- 電源に漏電ブレーカーは設置されていますか？ 【据付方法 P11 参照】
- 接続電線は結線図通り結線されていますか？ 【据付方法 P12, 13 参照】
- 接続電線の端子台への接続は確実ですか？ 【据付方法 P14 ~ 22 参照】
- 接続電線の固定は確実ですか？ 【据付方法 P14 ~ 22 参照】
- 基板上のコネクタのはずれはありませんか？ 【据付方法 P12, 13 参照】
- アース工事はされていますか？ 【据付方法 P14 参照】

(3) 機能設定チェック

- 親機設定 (SW7-1) の設定は正しいですか？ 【機能設定 P28 参照】
 - アドレス設定スイッチ (SA1、SA2) の設定は正しいですか？ 【機能設定 P23 参照】
 - 機能切換スイッチ (SW2、SW5、SW7) の設定は正しいですか？ 【機能設定 P23 ~ 31 参照】
 - ジーニアスリモコンからの機能設定は正しいですか？ 【機能設定 P23 ~ 31 参照】
- (詳細は接続するジーニアスリモコンの据付工事説明書を参照してください)

※初期不具合を防止するため、必ず据付工事後の確認を実施いただき、お客様にお渡し願います。

試運転

システム全体の設置完了後、天井板を張る前に誤結線がないか確認し、各システムのリモコン（外部機器用操作スイッチ等）の取扱説明書を参照して試運転を行ってください。

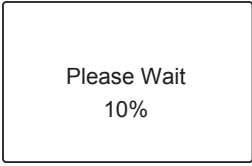

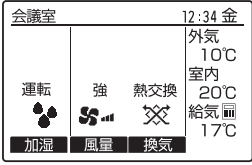



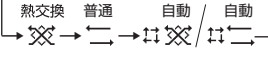



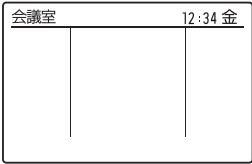
お願い

- 試運転時（排水時）に排水がドレン配管から戻らないことを確認してください。排水が戻る場合は、ドレン配管のこの配を見直してください。
- 試運転や立会検査実施後は、給水バルブまたはサービス弁を閉止し、排水弁を用いて給水配管内の水抜きを実施した上で、加湿「停止」、「ロスナイ換気」、「強」風量運転で累計6時間以上送風機を運転し、加湿エレメントの乾燥運転を行ってください。
- 乾燥運転を行わないと残留水が腐敗し異臭が発生する場合があります。なお、異臭の発生した加湿エレメントは交換が必要になります。
- 給水バルブまたはサービス弁を閉止しないと、凍結・ウォーターハンマー等の影響により電磁弁・ストレーナが破損し水漏れの原因となります。

1 リモコンでの試運転

(1) ジーニアスリモコン（PGL-61DR）の場合

下記の要領で各ボタンを押して正常に運転されるかを確認してください。


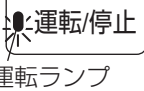

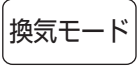




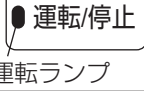

操作項目	操作部	表示部	手順
1. 通電			電源投入する
2. 運転開始			運転/停止ボタンを押す（運転ランプ点灯）
3. 風量の切換			F2ボタンを押す 「強」→「微弱」→「弱」と切り換わる
4. 換気モードの切換			F3ボタンを押す 「熱交換」→「普通」→「自動」と切り換わる 換気の切替わりの際、一旦送風機が停止します
5. 加湿の運転/停止			F1ボタンを押す 「自動」→「運転」→「停止」と切り換わる 加湿運転後5分間は給気送風機が停止します ■自動は加湿自律制御が「有効」、あるいはヒューミディスタット入力を「使用する」に設定されている場合に表示されます
6. 運転停止			運転/停止ボタンを押す（運転ランプ消灯） 停止から5分経過後、自動的に乾燥運転します

※バックライトが消えているときは最初のボタン操作でバックライトを点灯します。
操作内容は受け付けません。（運転/停止ボタンは除く）

試運転 つづき

(2) ロスナイコンパクトリモコン (PZ-N43SMF) の場合

下記の要領で各ボタンを押して正常に運転されるかを確認してください。


操作項目	操作部	表示部	手順
1. 通電			ロスナイに電源を供給します (「HO」が最大45秒点滅)
2. 運転開始	 運転ランプ	換気 熱交換 	運転/停止ボタンを押す (運転ランプ点灯)
3. 換気モードの設定		換気 自動 熱交換 普通	換気モードボタンを押す 「自動」切換→「熱交換」固定→「普通」固定と切り換わる 換気の切換わりの際、一旦送風機が停止します
4. 風量の切換		 「弱」を示す	風量ボタンを押す 「強」または「弱」を選ぶ (「微弱」は選べません)
5. 加湿の入/切			加湿ボタンを押す 表示部に「加湿」が表示され、加湿を開始する 再度加湿ボタンを押すと「切」になり、表示が消灯する 加湿運転後5分間は給気送風機が停止します
6. 運転停止	 運転ランプ		運転/停止ボタンを押す (運転ランプ消灯、通電表示のみ) 停止から5分経過後、自動的に乾燥運転します

※設定する機能がないボタンを押した場合、「無効ボタン」を表示します。

※バックライトが消えているときは最初のボタン操作でバックライトを点灯します。

操作内容は受け付けません。(運転/停止ボタンは除く)

2 ロスナイ単独の試運転

本体回路		試 運 転 動 作
OFF	ON	
SW2	1 	<ul style="list-style-type: none"> 送風機用電動機 (M1、M2) に通電され、強 (特強) 風量で運転する。 バイパスダンパー用電動機に約 1 分間通電されダンパー板が動作する。 電磁弁に通電されて電磁弁が開き、給水を開始する。

<p>1 運転開始</p> <p>1. ロスナイに電源を供給する。</p> <p>2. 試運転スイッチ (SW2-1) を「ON」にする。 〔試運転動作〕</p> <p>①強 (特強) 普通換気で約1分間運転</p> <p>②1分後、送風機が停止し、ダンパーがロスナイ換気に切り換わる</p> <p>③強 (特強) ロスナイ換気で運転再開 (SW OFFまで)</p> <p>3. 送風機の運転状態およびダンパー動作を確認する。</p>	<p>2 加湿確認</p> <p>①で試運転スイッチ (SW2-1) をONにしたまま加湿エレメントへの給水チューブを1か所はずし、水が供給されているか確認する。</p>	<p>3 運転停止</p> <p>試運転スイッチ (SW2-1) を「OFF」にする。</p>
---	--	--

※加湿エレメントの乾燥運転機能は働きません。

3 システム全体の中でのロスナイ試運転

■空調機または外部機器と連動運転システムの場合

- 空調機のリモコンスイッチまたは外部機器用操作スイッチを利用して空調機とロスナイの連動を確認する。
- 遅延設定されている場合は (フリープラン空調機の場合は冷暖起動時) 遅延時間経過後にロスナイの運転を確認する。

■MELANS システムの場合

- 三菱ビル空調管理システム (MELANS) にてロスナイの運転を確認する。

4 試運転時異常があった場合

現 象	処 置																									
ジーニアスリモコン (PGL-61DR)、ロスナイコンパクトリモコン (PZ-N43SMF) の運転スイッチを押しても運転しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源確認 (指定電源単相 100V または単相 200V、線径φ 1.6、開閉器容量) ● 結線の確認 (TB5 の①②にリモコンからの伝送線が接続されているか確認) ● 伝送線の短絡、断線の確認 (伝送端子間電圧が DC10 ~ 13V を確認) ● 伝送線と電源線および他の伝送線とが 5cm 以上離れているか確認 ● 試運転スイッチ (SW2-1) にてロスナイ単独で運転を行いロスナイ運転を確認する <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tr> <td style="padding: 2px;">ロスナイは運転する</td> <td style="padding: 2px;">→</td> <td style="padding: 2px;">伝送線を点検</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">ロスナイは運転しない</td> <td style="padding: 2px;">→</td> <td style="padding: 2px;">電源の確認</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ● ジーニアスリモコン (PGL-61DR)、もしくはロスナイコンパクトリモコン (PZ-N43SMF) が 3 台以上取付けられていないか確認 (最大 2 台まで) ● ロスナイとリモコン間の伝送線総延長の確認 ジーニアスリモコンの場合: 最大 200m ロスナイコンパクトリモコン: 最大 200m 		ロスナイは運転する	→	伝送線を点検	ロスナイは運転しない	→	電源の確認																		
ロスナイは運転する	→	伝送線を点検																								
ロスナイは運転しない	→	電源の確認																								
M-NET 使用時、ジーニアスリモコン (PGL-61DR)、ロスナイコンパクトリモコン (PZ-N43SMF) または MELANS の運転スイッチを押しても運転しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源確認 (指定電源単相 100V または単相 200V、線径φ 1.6、開閉器容量) ● 結線の確認 (TB5 の①②にリモコンからの伝送線が接続されているか確認) (TB5 の A④ に M-NET 伝送線が接続されているか確認) ● 給電ユニットの有・無及び電源が入っているか確認 (ロスナイのみのシステムの場合、給電ユニットが必要です) ● M-NET 伝送線の短絡、断線の確認 (伝送端子間電圧が DC20 ~ 32V を確認) ● M-NET 伝送線と電源線および他の伝送線とが 5cm 以上離れているか確認 ● ロスナイ単独で運転を行いロスナイ運転を確認する <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tr> <td style="padding: 2px;">ロスナイは運転する</td> <td style="padding: 2px;">→</td> <td style="padding: 2px;">伝送線を点検</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">ロスナイは運転しない</td> <td style="padding: 2px;">→</td> <td style="padding: 2px;">電源の確認</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ● M-NET の伝送線総延長、伝送線給電制約を確認 (技術資料等を参照してください) 		ロスナイは運転する	→	伝送線を点検	ロスナイは運転しない	→	電源の確認																		
ロスナイは運転する	→	伝送線を点検																								
ロスナイは運転しない	→	電源の確認																								
空調機または、外部機器と連動しない	<ul style="list-style-type: none"> ● パルス入力スイッチ (SW2-2) が「OFF」になっているか確認 (ジーニアスリモコン (PGL-61DR) から設定できます) ● 空調機または外部機器とロスナイ間の伝送線の総延長を確認 (技術資料等を参照してください) ● 外部制御入力端子 (TM2) の接続を確認 <table style="width: 100%; margin-top: 5px;"> <tr> <td style="width: 50%;">有電圧 DC12V または 24V 出力機器の場合</td> <td style="width: 50%;">外部制御入力端子 ①②に接続</td> </tr> <tr> <td>無電圧 a 接点出力機器の場合</td> <td>外部制御入力端子 ①③に接続</td> </tr> <tr> <td>当社製スリムエアコンの場合</td> <td>外部制御入力端子 ①②に接続</td> </tr> </table> ● 空調機リモコン、MELANS にて登録操作を行う (空調機リモコン、MELANS の取扱説明書による) ● 遅延設定されていないか確認 ● 外部機器からの信号線を外部制御入力端子からはずして確認 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;"></th> <th style="width: 25%;">運転信号</th> <th style="width: 25%;">停止信号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有電圧 DC12V または 24V 出力機器</td> <td>DC12V または 24V</td> <td>DC0V</td> </tr> <tr> <td>無電圧 a 接点出力機器</td> <td>抵抗 0 Ω</td> <td>抵抗無限大 Ω</td> </tr> <tr> <td>当社製スリムエアコン</td> <td>DC2 ~ 6V (パルス信号)</td> <td>DC2 ~ 6V (パルス信号)</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ● ロスナイ複数台運転で外部制御入力端子に接続されているロスナイの親機設定スイッチ (SW7-1) が親設定になっているか確認またはその他のロスナイは SW7-1 が OFF になっているか確認 		有電圧 DC12V または 24V 出力機器の場合	外部制御入力端子 ①②に接続	無電圧 a 接点出力機器の場合	外部制御入力端子 ①③に接続	当社製スリムエアコンの場合	外部制御入力端子 ①②に接続		運転信号	停止信号	有電圧 DC12V または 24V 出力機器	DC12V または 24V	DC0V	無電圧 a 接点出力機器	抵抗 0 Ω	抵抗無限大 Ω	当社製スリムエアコン	DC2 ~ 6V (パルス信号)	DC2 ~ 6V (パルス信号)						
有電圧 DC12V または 24V 出力機器の場合	外部制御入力端子 ①②に接続																									
無電圧 a 接点出力機器の場合	外部制御入力端子 ①③に接続																									
当社製スリムエアコンの場合	外部制御入力端子 ①②に接続																									
	運転信号	停止信号																								
有電圧 DC12V または 24V 出力機器	DC12V または 24V	DC0V																								
無電圧 a 接点出力機器	抵抗 0 Ω	抵抗無限大 Ω																								
当社製スリムエアコン	DC2 ~ 6V (パルス信号)	DC2 ~ 6V (パルス信号)																								
ロスナイが停止しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 試運転スイッチ (SW2-1) が「OFF」になっているか確認 																									
コントロールボックス内部のロスナイ本体異常表示ランプ (LED1 緑) が点滅している	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">1 回</td> <td>100V 製品に 200V が印加されている 200V 製品に 100V が印加されている</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">製品の規定通りの電源電圧に切換えてください</td> </tr> <tr> <td>2 回</td> <td>ロスナイ側回路の故障</td> </tr> <tr> <td>4 回</td> <td>ロスナイ (OA 側) 温湿度センサー関係の故障</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">電源を切ってお買い上げの販売店にお申しつけください</td> </tr> <tr> <td>5 回</td> <td>ロスナイ (RA 側) サーモ関係の故障</td> </tr> <tr> <td>6 回</td> <td>加湿コネクタのはずれ</td> </tr> <tr> <td>7 回</td> <td>加湿器の故障</td> </tr> <tr> <td>9 回</td> <td>リモコン通信異常</td> </tr> <tr> <td>10 回 または 11 回</td> <td>機能設定エラー 同一グループで親機設定 (SW7-1) が 2 台以上 ON になっている</td> <td style="vertical-align: top;">外部信号を入力する製品を親機に、それ以外を子機に設定してください</td> </tr> <tr> <td>11 回</td> <td>リモコン給電異常 リモコン伝送線がショートしている</td> <td style="vertical-align: top;">リモコン伝送線を確認してください</td> </tr> <tr> <td>点灯</td> <td>遅延中</td> <td style="vertical-align: top;">ジーニアスリモコン (PGL-61DR)、ロスナイコンパクトリモコン (PZ-N43SMF) がない場合は、30 分経過後消灯 (運転) します</td> </tr> </table>	1 回	100V 製品に 200V が印加されている 200V 製品に 100V が印加されている	製品の規定通りの電源電圧に切換えてください	2 回	ロスナイ側回路の故障	4 回	ロスナイ (OA 側) 温湿度センサー関係の故障	電源を切ってお買い上げの販売店にお申しつけください	5 回	ロスナイ (RA 側) サーモ関係の故障	6 回	加湿コネクタのはずれ	7 回	加湿器の故障	9 回	リモコン通信異常	10 回 または 11 回	機能設定エラー 同一グループで親機設定 (SW7-1) が 2 台以上 ON になっている	外部信号を入力する製品を親機に、それ以外を子機に設定してください	11 回	リモコン給電異常 リモコン伝送線がショートしている	リモコン伝送線を確認してください	点灯	遅延中	ジーニアスリモコン (PGL-61DR)、ロスナイコンパクトリモコン (PZ-N43SMF) がない場合は、30 分経過後消灯 (運転) します
1 回	100V 製品に 200V が印加されている 200V 製品に 100V が印加されている	製品の規定通りの電源電圧に切換えてください																								
2 回	ロスナイ側回路の故障																									
4 回	ロスナイ (OA 側) 温湿度センサー関係の故障	電源を切ってお買い上げの販売店にお申しつけください																								
5 回	ロスナイ (RA 側) サーモ関係の故障																									
6 回	加湿コネクタのはずれ																									
7 回	加湿器の故障																									
9 回	リモコン通信異常																									
10 回 または 11 回	機能設定エラー 同一グループで親機設定 (SW7-1) が 2 台以上 ON になっている	外部信号を入力する製品を親機に、それ以外を子機に設定してください																								
11 回	リモコン給電異常 リモコン伝送線がショートしている	リモコン伝送線を確認してください																								
点灯	遅延中	ジーニアスリモコン (PGL-61DR)、ロスナイコンパクトリモコン (PZ-N43SMF) がない場合は、30 分経過後消灯 (運転) します																								
コントロールボックス内部の M-NET 系異常表示ランプ (LED2 赤) が点滅している	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">1 回 ~ 8 回</td> <td>M-NET 通信上の異常</td> <td style="vertical-align: top;">電源を切ってお買い上げの販売店にお申しつけください。</td> </tr> <tr> <td>点灯</td> <td>登録操作をしていない</td> <td style="vertical-align: top;">コントローラにて登録操作をしてください</td> </tr> </table> ※ M-NET を使用しない場合は、LED2 の点滅・点灯は異常ではありません。	1 回 ~ 8 回	M-NET 通信上の異常	電源を切ってお買い上げの販売店にお申しつけください。	点灯	登録操作をしていない	コントローラにて登録操作をしてください																			
1 回 ~ 8 回	M-NET 通信上の異常	電源を切ってお買い上げの販売店にお申しつけください。																								
点灯	登録操作をしていない	コントローラにて登録操作をしてください																								
加湿しない	<ul style="list-style-type: none"> ● サービス弁が開いているか確認 ● 空調機が暖房運転中か確認 (暖房時に加湿器が運転します) ● 加湿自律有効設定 (本体回路 SW2-7 が ON) されているか確認 (自律有効設定されている場合、PGL-61DR の加湿操作が「自動」になっている場合、または PZ-N43SMF を使用している場合は外気温度 12℃ 以上では加湿しません) ● 24 時間換気時、ナイトパーズ運転時は加湿しません ● ヒューミディスタットの接点が ON になっているか確認 																									

■ リモコンに異常情報が表示されたときはリモコンに付属の説明書に従って処置してください。
 ■ 外部機器の信号で運転させる場合はロスナイに電源が投入されてから約 2 分後に運転します。

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は、
再生紙を使用
しています。